

4. 教員の活動報告

4-1. 行動学系

講座名等	教員氏名
人間行動学	森川 和則
	入戸野 宏
	藏口 佳奈
	郷原 皓彦
	篠原 一光
	川島 朋也
	三浦 麻子
	綿村 英一郎
	仁科 国之
	権藤 恭之
	春日 彩花
	三好 恵真子
	青野 正二
	小林 清治
	中井 宏
秋保 亮太	
行動生態学	鹿子木 康弘
	MENG XIANWEI
	千々岩 眸
	八十島 安伸
	足立 浩平
	山本 倫生
	中野 良彦
	伊藤 幸太
	勝 野吏子
行動学系共通	久保田 彩
附属比較行動実験施設	山田 一憲

※計 27 名 掲載順

所属学系：	行動学系	氏名：	森川 和則
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
学部生の卒業研究において、素晴らしい発見が得られた。この成果を来年度に国際学会発表および国際学術誌への論文投稿を行なう予定である。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
2022年9月に開催された日本顔学会大会において院生と私の共著発表が「原島賞」を受賞した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
第3回ポストコロナを見据えた令和時代の宝くじのあり方研究会（総務省、東京都、みずほ銀行宝くじ部などが主催）において心理学者として招待講演を行なった（2022年5月20日）。毎日新聞からの依頼で特集「論点『宝くじを考える』」に論評を執筆した（2022年9月2日掲載）。化粧品開発技術者の研究会である東日本コスメ倶楽部において招待講演を行なった（2023年3月1日）。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
部局内委員会として、教育国際化推進委員および国際交流室委員を務めた。

所属学系：	行動学系	氏名：	入戸野 宏
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
大学院生を指導し、複数の国際誌に論文を掲載した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
昨年度に引き続き、科学研究費補助金基盤研究(A)により、「かわいい」感情についての研究を行った。研究成果は国際誌に掲載されるだけでなく、メディアでたびたび取り上げられた。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
行動学系幹事教授、全学入試委員として管理運営に携わった。

所属学系：	行動学系	氏名：	藏口 佳奈
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>科研費（若手研究：21K13679）の代表者として研究活動を推進した。第一著者での査読付き論文が2本採択された（1本は刊行済み，もう1本は印刷中）。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学系	氏名：	郷原 皓彦
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
日本心理学会第 86 回大会 優秀発表賞 第 14 回 錯視・錯聴コンテスト 入賞

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本生理心理学会 編集委員長補佐

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学系	氏名：	篠原 一光
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
外部機関からの受託研究 1 件、民間企業との共同研究 1 件を実施した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
大阪府安全運転管理者講習、大阪府指定自動車教習所職員講習等の内容整備や運営に携わった。また、独法自動車事故対策機構の適性診断業務検討委員会に委員として参加した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
大阪大学人間科学部・人間科学研究科創立 50 周年記念事業準備室長として、人間科学サミット等関連事業の運営を行った。

所属学系：	行動学系	氏名：	川島 朋也
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>2022 年度ヒューマン・サイエンス・プロジェクト（大阪大学人間科学研究科）に採択された。科学研究費（若手研究）に採択された。</p> <p>日本認知心理学会より、優秀発表賞（社会的貢献度評価部門）を受賞した。交通科学研究会より、優秀発表賞を受賞した。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>日本認知心理学会第 20 回大会の大会事務局のメンバーとして運営に携わった。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>実験参加者募集システムである SONA システムの運営に携わった。</p>

所属学系：	行動学系	氏名：	三浦 麻子
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
研究室の学部生・大学院生グループで、内閣府広報室「若者による感染対策の広報ワークショップ」に参画した。 https://corona.go.jp/together/event/report/

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
日本心理学会 2022 年度学術大会特別優秀発表賞受賞「2021 年衆院選における熟慮的-直観的投票行動：個人と所属集団、国の未来のための投票」 科研費基盤 B「社会的態度の個人差を説明する価値観としての「常民性」概念の探究」新規採択

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
JST ムーンショット型研究開発事業目標 9 「2050 年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現」 アドバイザー 科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業（さきがけ）「パンデミックに対してレジリエントな社会・技術基盤の構築」領域アドバイザー 株式会社 原子力安全システム研究所 社会システム研究所 研究企画会議 委員 兵庫県赤穂市 市政特別アドバイザー 一般社団法人日本心理学諸学会連合 理事 公益社団法人日本心理学会 常務理事（認定心理士担当） 日本社会心理学会 常任理事（広報担当） 日本グループ・ダイナミックス学会 理事 心理学評論 編集委員

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
総長補佐 感染症総合教育研究拠点 科学情報・公共政策部門 副部門長 評価資料室長

所属学系：	行動学系	氏名：	綿村 英一郎
-------	------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
ゼミに論文査読のロールプレイングを取り入れた。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
研究代表者として、4件の外部研究資金の受入があった。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
法と心理学会の常任理事として様々な企画を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
教務委員会で副教務委員長、公認心理師プログラム運営室で副室長を務めた。

所属学系：	行動学系	氏名：	仁科 国之
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>研究資金</p> <p>2022 年度ヒューマン・サイエンス・プロジェクト</p> <p>2022 年度社会神経科学研究拠点共同研究公募,</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学系	氏名：	権藤 恭之
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
高齢者との交流機会である「老いとも」を実施。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
文部科研 A 獲得 大阪ガスからの研究委託費獲得 認知心理学会独創賞受賞

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
朝来市の各種会議への出席 高齢者大学での講義複数 日本心理学会 教育委員 日本心理学会 代議員 日本老年社会科学学会 理事 日本応用応用老年学会 常任理事 米国老年学会 評議員

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
部局内研究推進委員 全学委員会 インターナショナルカレッジ委員

所属学系：	行動学系	氏名：	春日 彩花
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
「知恵」の形態と生活文脈の関連—人生を通じて発達する「知恵」とは何か？— ジェロントロジー研究助成金（2022年10月-2024年3月）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本発達心理学会第34回大会大会委員

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学系	氏名：	三好 恵真子
-------	------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>博士後期課程の学生が、「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップに2名、また学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト生に2名採用されており、関連研究を推進して評価を得た。本年度の日本生活学会生活学プロジェクト助成に院生が代表となるプロジェクトが1件採択された。受賞には至らなかったものの、博士後期課程の院生が「育志賞」として日本生活学会から、「石橋湛山新人賞」として本研究科からそれぞれ推薦を受けた。所属院生が国内外の学会発表を行い、学術雑誌（査読有含）に複数本掲載された。今年度博士号取得者を3名輩出できた。</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>グローバル日本学教育研究拠点における2022年度「拠点形成プロジェクト」に、研究代表として「21世紀課題群と東アジアの新環境:実践志向型地域研究の拠点構築」が採択された。その第1回シンポジウムとして、「この50年の歩みを共に考える—それぞれの出来事をいま振り返る意味」を一般公開にて開催し（オンライン開催 with Zoom）、成果の総括をOUFC (Osaka University Forum on China) Bookletとして刊行した。ダイキン工業との包括連携契約によるDi-ChiLDの受託研究テーマ「新たな研究課題・価値創造探索活動」における「複雑な現象の解明から人々の暮らしと空気・環境の改善を導く最先端文理融合研究」を推進した。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>各種学会(資源素材学会, 日本レオロジー学会, 日本現代中国学会, 日本生活学会, 日本地球化学会, 廃棄物循環資源学会, 政策情報学会, 美学会等)に所属し、学会運営、学会発表・論文査読等へ貢献した。国際誌や所属学会以外の学術誌の査読者、科学技術振興機構関係の専門委員等も務めた。今年度から日本現代中国学会の理事兼事務局となり、また日本生活学会の理事・学術委員並びに生産技術振興協会の編集委員を引き続き務めた。地域課題の発見及び解決のための人材育成手法の検討に係る研究会に参画した。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>国際共創大学院学位プログラム推進機構、先導的学際研究機構、COデザインセンター、グローバル日本学教育研究拠点、D&Iセンター、理学研究科附属フォアフロント研究センターの6つの組織の兼任教員として尽力する。超域イノベーションプログラムで総務WG主査を務めた。学系の研究倫理審査委員会の委員長として、学系内の年間120件を超える審査をつつがなく進めた。部内では、ハラスメント防止委員・ハラスメント相談員として健全な環境整備に助力した。部内男女協働推進WGでは、学業・子育て両立支援に関する奨学金制度実施を継続し、学内でも高い評価を得た。OUMP実現加速事業検討WGのメンバーとして協力し、無事採択に至った。</p>

所属学系：	行動学系	氏名：	青野 正二
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学系	氏名：	小林 清治
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
NPO 法人・京都自由大学理事

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
紀要編集委員会委員長

所属学系：	行動学系	氏名：	中井 宏
-------	------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>京都府道路交通環境安全推進連絡会議アドバイザー委員および京都市自転車政策審議会委員として、京都府の交通安全政策の立案等に関与。</p> <p>警察庁「教習車両及び教習カリキュラム等の在り方に関する調査研究」の委員として、指定自動車教習所での教習制度見直しを進めている。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学系	氏名：	秋保 亮太
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
論文レビュー書籍1冊（分担執筆）、学術雑誌での記事連載1件

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
企業社内ゼミでの話題提供、消防職員セミナーでの講演会

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学系	氏名：	鹿子木 康弘
-------	------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>院生（博士後期課程 1 名、博士前期課程 9 名）、学部 4 年生 4 名、3 年生 4 名を主教員として指導した。院生による学会等の発表は国際学会（ポスター発表 2 件）と国内学会（シンポジウム発表 2 件、ポスター発表 7 件）で計 9 件あり、修士論文 4 件、卒業論文 2 件が提出された。</p> <p>5 月には卒業生が筆頭の国際論文が短報の論文に掲載され、M1 の学生 2 人が、それぞれの卒業論文を国際誌に投稿したことも特記すべきである。さらに M2 の修士論文が、近いうちに国際誌に投稿される予定でもある。別の M2 が昨年投稿した論文は、現在国際誌にて二回目のリビジョンとなっている。また、この M2 の学生は、日本学術振興会の特別研究員（DC1）を取得した。</p> <p>以上の取り組みからわかるように、学生に国際的な業績をださせるように心がけている。</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>国際誌（Scientific Reports, BMC Research Notes, Nature Human Behaviour）に 3 報の原著論文、国内誌（感情心理学研究）にレビュー論文を 1 報、掲載することができた。特に Nature Human Behaviour 誌は心理学の国際誌では最高峰の雑誌であり（IF が 24.252）、特記すべき成果であるといえる。この成果は、阪大からプレスリリースされ、50 以上の海外メディアにとり挙げられ、国内においても、朝日新聞や産経新聞に記事として取り上げられた。</p> <p>外部研究資金としては、JST のムーンショット 9、JST 未来社会で受託費をもらうこととなった。また、株式会社デンソーとの共同研究により、2023 年 4 月からも受託費をもらう予定となっている。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>2022 年の 8 月から日本認知科学会の編集委員、2023 年 1 月からは日本認知科学会の運営員を務めている。また、今年度は、同志社大学赤ちゃん研究センターの運営委員も務めた。</p> <p>また、国際誌の査読（Infancy(1), Journal of experimental child psychology(3), Developmental Science(1), Infant and behaviourl development(1)）を計 6 件行った。</p> <p>ATR（国際電気通信基礎技術研究所）の客員研究員も継続して行った（2018 年から継続）。</p> <p>ゼミの学生の出身校である大阪府立三国ヶ丘高校で、出張授業も行った。</p> <p>3 月 19 日には主に高校生を中心に、サイエンスカフェを行い、乳児研究の普及を行う予定である。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>動物実験委員、障がい学生修学支援委員、公認心理師運営委員、倫理審査委員を担当したが、特に後者二つにおいて部局への貢献（前者は公認心理師プログラムの運営や実習の付き添い、会議への参加などがある。後者は年間 100 を超える書類の審査がある）があったと思われる。また、大阪大学先導的学際研究機構 共生知能システム研究センター（SISReC）の認知脳科学研究グループメンバーとして、国際共同シンポでのトークやサイエンスカフェ（3 月 19 日に予定）も行っている。</p>

所属学系：	行動学系	氏名：	MENG XIANWEI
-------	------	-----	--------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
学部3年生の演習にて、1年間を通じて心理学の再現性危機も取り上げつつ、学生と一緒に、研究立案・プレレジ・データ集・解析・論文執筆を行い、研究成果を国際学術誌への投稿を実現した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
国際誌で5本の論文、国内誌で1本の論文を掲載した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
プレスリリースを2件おこない、社会的に大きな影響を得た。HNK 科学番組に出演するなど、アウトリーチ活動も行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
公認心理師運営プログラムの教員として活動を行った。日本赤ちゃん学会若手部会の構成員として学会活動をサポートした。

所属学系：	行動学系	氏名：	千々岩 眸
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学系	氏名：	八十島 安伸
-------	------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<ul style="list-style-type: none"> ・兼任している大阪大学生命機能研究科の大学院学生（留学生・一年生）からの希望に基づき、年度途中からではあるが、当該大学院学生の研究指導・研究室所属を受け入れた。 ・生命機能研究科の博士学位論文の予備審査委員、および審査委員副査を務めた。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<ul style="list-style-type: none"> ・浦上食品・食文化振興財団の令和4年度学術研究助成に採択された。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<ul style="list-style-type: none"> ・グランフロント大阪 Umekiki（うめきき）プロジェクト（企画・運営担当：株式会社 KUUMA）における第1回「こども記者倶楽部」ワークショップの企画・運営への情報提供・助言を行うとともに、同ワークショップに参加し、運営に協力した。また、同社が発行している情報誌「Umekiki Paper」Vol. 24 の原稿案について情報提供・助言等を行った。 ・2022年10月5日 西宮市令和4年度市民講座 宮水学園「せいかつ講座」・講師 『科学から食べ物の好き嫌いを観てみよう』 ・2022年11月11日 令和4年度大分県食育指導者研修会・講師 『好き嫌いをサイエンスから捉え直してみる』 ・日本味と旬学会運営委員を継続して務めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子組換え実験安全委員会の1号委員に加えて、4号委員（指定委員）として活動した。 ・基礎工学研究科における人を対象とした研究に関する倫理委員会委員を務めた。

所属学系：	行動学系	氏名：	足立 浩平
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
大学院専門教育では、特に、査読つき学術誌への投稿論文のシナリオ構成の重要性を強調した。学部専門教育では、数理科学の基礎を伝授し、専門外受講生の授業では平易な解説に努めた。本年度も引き続き、G30・国際交流科目でもある多変量解析の英語授業を、自著の英文テキストを用いて、実施した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
昨年度開始の科研費課題「主成分・因子・制約つき因子分析を使うべきケースを峻別するための研究」の一成果であるに関する論文を、国際学術誌に投稿した。また、スパース因子分析に関する論文を英文学術誌に投稿して、採択された。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
統計科学の学会の委員として、学会の円滑な運営に関わった。また、統計科学の国際学術誌への投稿論文のハンドリングを行った。なお、他大学の過程博士論文の副査を務めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
大阪大学 数理・データ科学教育研究センターの兼任教員として、学部を超えた統計教育の充実化の構想に努めた。また、人間科学研究科選出の図書館委員として、図書館の充実化の構想に関わった。

所属学系：	行動学系	氏名：	山本 倫生
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>日本行動計量学会 林知己夫賞（優秀賞）受賞（2022年8月）</p> <p>科学研究費補助金 基盤研究(C)（研究代表者）「スパース経時データのクラスタリング法の開発と臨床医学への応用」（課題番号：21K11787）</p> <p>科学研究費補助金 基盤研究(B)（研究分担者）「健康関連時空間データにおける複数クラスタのモデリング・検出・評価法の開発」（課題番号：21H03402）</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>「データ分析の理論と応用」編集委員会委員</p> <p>「行動計量学」編集委員会委員</p> <p>Associate Editor for Japanese Journal of Statistics and Data Science</p> <p>Associate Editor for Behaviormetrika</p> <p>日本行動計量学会 理事</p> <p>日本行動計量学会 運営委員会委員</p> <p>経営科学系研究部会連合協議会 令和4年度データ解析コンペティション 関西予選 審査委員</p> <p>理化学研究所 革新知能統合研究センター 客員研究員</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>教務委員会委員</p>

所属学系：	行動学系	氏名：	中野 良彦
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
吹田地区事業場安全衛生委員会委員 部局安全衛生委員会委員長 部局防災対策委員会委員長 安全衛生推進室室長 人間科学研究科創立 50 周年記念事業委員会副委員長 動物実験委員会委員 財務会計委員会委員 産官学連携問題委員会委員

所属学系：	行動学系	氏名：	伊藤 幸太
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>修士課程1名、博士課程2名の研究指導を行い、第76回日本人類学会大会において指導学生計3名の研究発表が行われた。うち修士課程1名と博士課程1名の学生に関しては、それぞれ公聴会において副査の先生方からの評価も良好で、修士号と博士号の取得に至った。</p> <p>また、今年度から学部生を1名受け入れ、実習と並行しながら輪読会や研究報告会、博物館の見学会などを開催し、自然人類学の基礎知識や解析技術の指導を行った。</p> <p>共通教育科目の「行動学の考え方」においては半期の授業を担当し、学生から良好なフィードバックを受けた。</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>ヒューマンサイエンスプロジェクトで採択された霊長類の足部動態計測に関する研究を推進し、第76回日本人類学会大会で研究発表を行った。また、同課題の研究結果をもとに科研費に応募し、2023年度の若手研究として採択された。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>特になし</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>一年を通して、動物飼育施設の管理運営、飼育動物の環境エンリッチメントの向上、放射線装置の管理点検などを行った。また、行動学系のHP担当として、ホームページの維持および管理を行った。</p>

所属学系：	行動学系	氏名：	勝 野 吏 子
-------	------	-----	---------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
比較行動学研究セミナーを主催し、学生が外部の研究者と議論できる機会を設けた。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
動物の社会認知にかかわる研究について、科学研究費継続分を受給した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
共創 DAY やはんだいラボ等に研究室で出展するなど、科学コミュニケーションに関する活動を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学系	氏名：	久保田 彩
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
令和4年度論文賞 日本老年社会科学会

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学系	氏名：	山田 一憲
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
ユニークな実践は特にありません。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
厚生労働科学特別研究事業の研究分担者として「結核蔓延防止のためのサルにおける検査方法および診断手法の見直しに資する研究」を実施した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
一般参加者や高校生を対象とした講演会やサルの観察会を8回実施した。兵庫県、洲本市、南あわじ市によるホンザル対策打合会に参加し、淡路島に生息するニホンザルの現況を報告した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

4-2. 社会学・人間学系

講座名等	教員氏名
社会環境学	川端 亮
	CROYDON Silvia
	山田 陽子
	吉川 徹
	五十嵐 彰
	辻 大介
	山中 浩司
	斉藤 弥生
	遠藤 知子
社会学系共通	王 文潔
	齋藤 僚介
基礎人間科学	森田 邦久
	村上 靖彦
	野尻 英一
	福岡 まどか
	白川 千尋
	森田 敦郎
	鈴木 和歌奈

※計 18 名 掲載順

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	川端 亮
-------	----------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
鹿児島県鹿屋市でPBLの実施に協力した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科研費の出版助成により、稲場先生との共著である創価学会のアメリカ布教の研究書である『アメリカ創価学会における異体同心』を翻訳した” Many in Body, One in Mind”: The Journey of Soka Gakkai in America を大阪大学出版会から出版した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
愛媛県主催のえひめ南予きずな博のシンボルイベントの実施に、NEO のむらの一員として加わった。大阪大学が商標を持つ日本酒「緒方洪庵」の醸造販売し、西予市野村町の復興を微力ながら支援した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	CROYDON Silvia
-------	----------	-----	----------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
特になし

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科学研究費助成事業・国際共同研究強化（日本学術振興会）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
上記のグラントによる大阪大学とオックスフォード大学間の交流

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
特になし

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	山田 陽子
-------	----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<ol style="list-style-type: none"> 1. 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(B) 「集合意識」から「情動の社会学」へ—デュルケーム社会学の現代的展開, JP22H00904, 研究分担者 2. 一般社団法人デサイロ 研究助成金「ポスト・ヒューマン時代の感情資本」

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<ol style="list-style-type: none"> 1. 関西社会学会理事 2. 科学社会学大会実行委員会委員 3. デュルケーム/デュルケーム学派研究会世話人 4. 一般社団法人デサイロ開催ワークショップ ファシリテーター

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合型選抜・入試問題作成委員 2. ハラスメント防止委員会委員

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	吉川 徹
-------	----------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
大阪大学社会調査士連絡責任者

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
統計数理研究所客員教授 大阪大学行動経済学研究センター兼任教員

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
博報堂生活総合研究所のみらい博 2023「消齡化社会」開催にあたり学術アドバイスをを行った。 国際交流基金の活動の一環として北京外国語大学日本研究センターにおいて集中講義を行った。 関西学院大学、同志社大学において大学院講義を担当した。 関西社会学会理事、社会調査協会理事、日本学術会議連携研究員、NHK 放送文化研究所審議委員、公正研究推進協会 APRIN 社会学系分科会委員、島根県公立大学法人評価委員として社会貢献活動を行った。同人社会学研究会の査読委員を努めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
部局内において財務会計委員長を務めた。 大阪大学人間科学部・人間科学研究科 50 周年記念事業の一環として、全国人間科学系部局連例ネットワークの設立に事務局として貢献した。

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	五十嵐 彰
-------	----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>ニューヨーク大学より招へいた Iddo Tavory 教授を講師に、英語論文の執筆についてセミナーを行った。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	辻 大介
-------	----------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
電気通信普及財団賞奨励賞の受賞（編著『ネット社会と民主主義』による）、科研費基盤研究 A の受入

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
インターネットと人権問題に関する講演約 20 件、大東市人権擁護施策推進審議会委員、日本メディア学会理事

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
全学教育推進機構共通教育実施推進部教養教育部門（基盤教養教育科目部会、情報教育科目部会、健康・スポーツ教育科目部会）各委員、施設マネジメント委員会委員、情報セキュリティ委員会委員、サイバーメディア室委員

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	山中 浩司
-------	----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
卒論13名、修士論文1名、博士論文1名が成業し無事学位を取得。放送大学での一般むけ講義。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
吹田市男女共同参画審議委員、生き方死に方を考える社会フォーラムの開催、科学社会学会大会開催、会長就任。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
新棟建設対応WG長、ハラスメント相談室専門アドバイザー、適塾記念センター兼任教員、図書室長、入試検証検討チーム長。

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	斉藤 弥生
-------	----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
●8月末に1週間、大学院生3名とスウェーデン・ベクショー市とストックホルム市で高齢者、子ども対象の福祉事業と市民社会のかかわりについてのインタビュー調査を共同で実施しました。（うち2名の院生は人科の海外調査の費用＋外部資金で行かせていただきました。）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
●2021年度 JSPS 研究成果公開助成で、斉藤弥生&ヴィクトール・ペストフ編著『コ・プロダクションの理論と実践—参加型福祉・医療の可能性』大阪大学出版会、2023年、を刊行した（コロナの影響により、1年遅れの刊行）。
●2022年8-9月、JSPS 基盤研究（B）（研究代表）でデュッセルドルフ大学（ドイツ）に滞在し、日本の民生委員制度のルーツであるエルバーフェルト制度に関する調査研究を国際共同研究として、同大学島田信吾教授と実施。
●2022年8月、18th German Speaking Japanese Study Conference（2022年8月24日オンライン）で基調講演”Care and Culture: How does Japanese “Community-based Integrated Care System” work?”の招へいを受け、実施した。
●2022年11月、JSPS 基盤研究（A）（分担研究）で、韓国・健康保険研究院統合ケア研究センター柳愛貞センター長らとの共同研究で、光州市等の統合ケアの状況についての調査を実施した。
●2022年12月、JSPS 基盤研究（B）（分担研究）で、高齢者介護従事者を対象とした量的調査である「第2回 NORDCARE 調査日本版」を実施した。（第1回調査は2012年に実施。）
●2023年3月、JSPS 基盤研究（B）（研究代表）＋国際共同研究促進プログラムにより、スウェーデンにおける高齢者介護のガバナンスと評価についての調査を実施した。
●2023年3月末、JSPS 基盤研究（B）（分担研究）で、島根県隠岐の島の高齢者介護の実態調査を実施予定。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
●国際交流活動：前述のとおり。ドイツ、韓国、スウェーデンとの研究交流を行った。
●社会教育活動：NHK ラジオ講座「社会福祉セミナー」、放送大学「地域福祉の課題と展望」などのメディアを通じた社会教育活動を行った。協同組合連携機構共生社会フォーラム、日本労働者協同組合連合会共生ケアフォーラム等に参加して、専門的見地から発言をした。
●各種委員：吹田市社会福祉審議会委員長、大阪府国保連合会介護保険苦情処理委員会委員長、箕面市保健医療福祉総合審議会委員、吹田市地域包括支援センター運営協議会委員、社会福祉法人大阪府済生会千里病院倫理審査委員会外部委員、毎日新聞社会福祉顕彰審査委員、COOP 共済地域ささえあい助成震災会委員長、日本医療福祉生活協同組合連合会組合員参加のあり方検討小委員会委員などの各種委員会に出席し専門的見地からの意見を述べ、任務を遂行した。
●学会活動：日本社会福祉学会査読委員、地域福祉学会査読委員。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<全学>
・総長補佐（教育オフィス委員）：教育オフィスでは大阪大学の教育ビジョンづくりの議論に参加。大阪大学次世代挑戦的研究者育成プロジェクト事業運営委員会委員、シラバス検討委員会副委員長、スチューデントライフサイクルセンター一会議委員、教育情報化ワーキング委員として任務を遂行した。
・教育課程委員会委員（人科教務委員長として出席）

<部局>

- ・人間科学研究科教務委員長。
- ・人間科学研究科障がい学生支援委員。
- ・人間科学研究科入学試験委員会委員。
- ・人間科学研究科共生学系准教授人事選考委員会委員。
- ・人間科学研究科社会学・人間学系教授人事選考委員会委員。

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	遠藤 知子
-------	----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>科研費国際共同研究強化B、基盤Cを研究代表者として受け入れ中</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>学会活動：East Asian Social Policy Research Network の事務局を務め、2022年6月に開催された研究大会の企画・運営を行なった</p> <p>2022年度日本政治学会研究大会にて分科会の討論者を務めた</p> <p>日本政治思想学会編『政治思想研究』、日本政治学会編『年報政治学』の査読者を務めた</p> <p>社会教育活動：2023年3月に行われた一般社団法人 協同総合研究所主催の「協同労働・よい仕事研究交流全国集会 2023」にて分散会のコメンテーターを務めた</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>部内委員会：教育国際化推進委員、社会・人間学研究倫理委員</p>

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	王 文潔
-------	----------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>学生アンケートで満足度などが高い結果となったため、大阪大学「学問への扉」2023 年度担当者 FD 研修会で担当した「無縁社会を考える」について事例報告を行った。</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<ul style="list-style-type: none"> ・外部資金：JST CREST「地域を支える知のデジタルイノベーションと共有基盤（代表：山口弘純）」「地域を支える知の共有基盤における災害時支援技術」チーム（稲場圭信，川端亮，王文潔，小島誠一郎，峯英一郎，寺本弘伸），2021 年 10 月 - 2027 年 3 月。 ・受賞：日本自然災害学会 第 41 回学術講演会 発表優秀賞（大門大朗，宮前良平，王文潔）「Ⅲ-3 社会防災(1) 防災行動のナビゲート理論の構築：日本における個人の防災行動研究から」，2022 年 9 月。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	齋藤 僚介
-------	----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
日本メディア学会優秀論文賞を受賞

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	森田 邦久
-------	----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
研究推進室長

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	村上 靖彦
-------	----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
なし

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
なし

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
なし

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
副研究科長

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	野尻 英一
-------	----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>本年度は JSPS 外国人研究者招へい事業により招へい研究員としてヴィレン・ムーティ教授（ウィスコンシン大学マディソン校）をお招きし、授業や学術イベントなど教育活動にも参加いただいた。哲学とアジア思想史がご専門である見地を生かしていただき、大学院の「社会理論特講」「比較文明学特定・特別演習」、また学部/G30 の「日本の現代思想／Contemporary Japanese Thought」などにご参加いただき、学生への学術上のアドバイスをいただいた。またゼミの課外行事であるバーベキューなどにも参加いただき、親交を深めていただいた。学術交流、国際交流の双方において、有意義で充実したプロジェクトとなった。</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>前科研費プロジェクト培った研究資産と人的ネットワークを活かし、基盤研究 B 科研費に応募し、獲得に成功した。開始は 2023 年度からとなる。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学際的、社会学連携的な大規模イベントである「自閉症学超会議！」を開催し、種々の学問分野、NPO、当事者団体、教育関係者など多様なアクターの参加を得た。参加登録者の総計は 500 名を超え、良い雰囲気のもと刺激的な交流の場となった。 2. 日本初の仮想空間（メタバース）上での大規模公開学術交流イベントとなり、開拓的な試みとなった。また未来共創センターで行っている「哲学の実験オープンラボ」では今年度、ラジオ放送局「PiXOL Radio」プロジェクトを開始し、ネット上で一般向けラジオ放送を開始した。哲学対話をテーマとした対話番組を 9 回放送し、一定数の視聴者を得た。内容面で好評であるので、今後、クラウドファンディングなどで資金を得て、継続する予定である。 3. 株式会社 Ecolid 主催「第 2 回乳幼児療育カンファレンス 2023」に出演し、発達障害児のご家族などに向けた講演、シンポジウム登壇を行った。 4. 日本ヘーゲル学会で研究奨励賞選考委員長として学会賞選出の任にあたった。 5. NPO 法人グリーンケアサポートプラザの理事を務めた。 6. 一般社団法人一般社団法人日本学生射撃スポーツ連盟惨事を務めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>教務委員、編集委員、人科 50 周年記念行事委員などを務めた。特に 50 周年記念行事委員会では広報担当としてホームページとパンフレットの作成を担当した。</p>

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	福岡 まどか
-------	----------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>在大阪インドネシア総領事館主催スピーチコンテスト審査委員 2022年8月</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>部局内：広報委員 社会学・人間学系幹事教授 全学：入試関連教育委員会委員</p>

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	白川 千尋
-------	----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>科研・基盤 B（一般）『東南アジア・オセアニア地域における呪術の効果に関する文化人類学的研究』研究代表者。</p> <p>科研・基盤 A『現代ラオスにおける小規模社会集団の人口動態メカニズム』研究分担者。</p> <p>科研・基盤 C『タイ北部山地先住民のエスニック・セキュリティとその最適化に関する人類学的研究』研究分担者。</p> <p>科研・挑戦的研究（萌芽）『マダガスカルにおける中等教育拡大の再検討－就学から就業への移行に着目して』研究分担者。</p> <p>国立民族学博物館文化資源共同研究員。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>国際協力機構海外協力隊技術専門委員。</p> <p>特定非営利活動法人国際マラリア対策団副理事長。</p> <p>特定非営利活動法人パシフィカ・ルネサンス顧問。</p> <p>日本文化人類学会代議員。</p> <p>日本文化人類学会理事。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>総合学術博物館兼任教員。</p> <p>海外研究活動検討委員会委員長。</p> <p>未来共創センター運営委員会委員。</p> <p>人事委員会委員。</p> <p>シリーズ人間科学編集委員会委員。</p>

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	森田 敦郎
-------	----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
人類学とデザインを結びつけ、モノづくりを通して社会とテクノロジーの関係を探求するクリティカル・メイキングを教育に用いる実験的な試みを行った。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
挑戦的研究（開拓）を獲得し、モノづくりを人文社会科学の方法に取り入れるクリティカル・メイキングという新聞屋の開拓を行なっている。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
一般社団法人パースペクティブとともに、京都市右京区京北弓削の旧京北第三小学校の跡地活用事業として、モノづくり、林業と地域社会・環境についての研究・学習施設ファブビレッジ京北の設立に協力した。その中で、弓削自治会、北桑田高校、京都市教育委員会などと協働した。 株式会社大阪大学フォーサイトの取締役役に就任し、産学連携事業に取り組んだ。 同社の協力のもとで、一般向けのエスノグラフィ講座（2日間）を開講した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
株式会社大阪大学フォーサイト取締役

所属学系：	社会学・人間学系	氏名：	鈴木 和歌奈
-------	----------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
滞在中のアムステルダム大学で、修士課程向けの授業でゲスト講師として登壇した

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」女性研究者奨励賞 受賞

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

4-3. 教育学系

講座名等	教員氏名
臨床教育学	岡部 美香
	藤川 信夫
	西森 年寿
	後藤 崇志
	野坂 祐子
	阿部 望
	老松 克博
	野村 晴夫
	佐々木 淳
	管生 聖子
	村中 誠司
教育環境学	木村 涼子
	荒牧 草平
	園山 大祐
	小畑 理香
	北山 夕華
	岡田 千あき
	高田 一宏
	西 徳宏
教職	佐藤 功
	橋本 あかね

※計 21 名 掲載順

所属学系：	教育学系	氏名：	岡部 美香
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<ul style="list-style-type: none"> ・ハンナ・アーレント『人間の条件』読書会（テキストは英語・ドイツ語）継続中 ・デューイ『論理学』読書会（テキストは英語）継続中 ・野尻ゼミ・岡部ゼミ合同合宿 ・京都シュタイナー学校訪問 ・水俣スタディツアー（同志社大学と合同） ・「ブタがいた教室」映画・実録映像鑑賞とディスカッション（京都教育大学の黒田恭史氏とともに） ・社会学連携型・高度副プログラム『日本におけるマイノリティ教育の理論と実践』の開発（責任者 2022 年度から開講 大阪府立西成高校、同福井高校、大阪府守口市立守口さつき学園夜間学級、大阪府教育庁、守口市教育委員会と連携）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金 基盤研究(C)「例示とアナロジー的思考に関する教育思想史的研究」2017 年度～2021 年度（研究代表者） コロナで延長・2023 年度で終了 ・科学研究費補助金 基盤研究(C)「民衆思想にみるカタストロフィーの記憶継承技法の教育学的可能性」2020 年度～2024 年度（研究分担者） 継続 ・2021 年度グローバル日本学教育研究拠点 拠点形成プロジェクト「社会学連携型・高度副プログラム『日本におけるマイノリティ教育の理論と実践』の開発」2021 年度～2023 年度（研究代表者） ・SSI 基幹プロジェクト「自らの生から公共の知を共創する次世代市民の育成に向けた教育の開発」（【総長裁量】社会ソリューションイニシアティブによる、持続可能な共生社会を実現する社会・経済システムの構築に向けた諸課題の解決策の提案）2021 年度～2023 年度（研究代表者）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<ul style="list-style-type: none"> ・日本教育学会 Educational Study in Japan 編集委員会 委員（令和 2 年 4 月～現在に至る） ・日本教育学会 法人理事・近畿地区理事（令和 3 年 8 月～現在に至る） ・日本教育学会 研究推進委員会 委員長（令和 3 年 8 月～現在に至る） ・教育哲学会 編集委員会 副編集委員長（令和 3 年 9 月～現在に至る） ・教育哲学会 常任理事（令和 4 年 10 月～現在に至る） ・教育哲学会 『教育哲学事典』編集委員会 委員（令和 元年 6 月～現在に至る） ・Philosophy of Education Society of Australasia Educational Philosophy and Theory Regular Reviewer（平成 30 年 5 月～現在に至る） ・教育思想史学会 理事・インクルーシブ&ダイバージョン WG とりまとめ（平成 24 年 10 月～現在に至る） ・Asian Link of Philosophers of Education 2023 Summer（2022.8 於：アジア圏の教育哲学研究者の国際研究交流大会 大阪大学・オンライン 大会実行委員長） ・大阪府教育委員会 教育委員（平成 28 年 10 月～現在に至る） ・日本学術会議 会員（令和 2 年 10 月～現在に至る） ・日本学術会議 心理学・教育学委員会 排除・包摂と教育分科会 委員長（令和 2 年 10 月～現在に至る） ・日本学術会議 第一部総合ジェンダー分科会 幹事（令和 2 年 10 月～現在に至る）

・大阪市平野区「ひらの青春生活応援事業」プロポーザル選定委員会

委員（令和 3年12月～令和 4年 2月）

・大阪市旭区「あさひ育み学び舎連絡会議」アドバイザー（令和 4年 4月～現在に至る）

・大阪府立豊中高等学校 学校運営協議会 委員（令和 4年 4月～現在に至る）

・豊中市学校教育審議会 委員（令和 4年 5月～令和 4年10月）

・日本学術会議 科学者委員会 男女共同参画分科会 ジェンダー教育推進小委員会

委員長（令和 4年 8月～現在に至る）

・図書紹介動画の作成・公開（大阪府教育庁・大阪府立中央図書館と連携）「ねずみのよめいり（中国語・台湾）」大阪府教育庁
YouTube 「【地域教育振興課】多言語の絵本紹介動画『いろんなことばでえほんをたのしもう！』」2022年4月公開

<https://www.youtube.com/watch?v=k78gCvw20dA>

・図書紹介動画の作成・公開（大阪府教育庁・大阪府立中央図書館と連携）「あかずきん（フランス語）」大阪府教育庁 YouTube
「【地域教育振興課】多言語の絵本紹介動画『いろんなことばでえほんをたのしもう！』」2022年5月公開

https://www.youtube.com/watch?v=nN_oSLcho_g

・図書紹介動画の作成・公開（大阪府教育庁・大阪府立中央図書館と連携）「白藤江で軍服を洗う（ベトナム語）」大阪府教育庁
YouTube 「【地域教育振興課】多言語の絵本紹介動画『いろんなことばでえほんをたのしもう！』」2022年6月公開

<https://www.youtube.com/watch?v=eP5tuymALBY>

・図書紹介動画の作成・公開（大阪府教育庁・大阪府立中央図書館と連携）「ガラナ（ポルトガル語）」大阪府教育庁 YouTube
「【地域教育振興課】多言語の絵本紹介動画『いろんなことばでえほんをたのしもう！』」2022年7月公開

<https://www.youtube.com/watch?v=0nExkqlaV4Y>

・岡部美香、村上靖彦、榎井緑（2022.7）アートエリア B1 ラボカフェ 21世紀懐徳堂シリーズ Vol.5 「教育と福祉を架橋する
① ヤングケアラー・パネルディスカッションを開催して」（於：アートエリア B1・ハイブリッド開催）サイエンス・カフェ

・岡部美香、田熊美保、榊田千佳、小玉重夫（2022.7）大阪大学・社会ソリューションイニシアティブ 第16回 SSI サロン「いのちの〈ことば〉一次世代市民が共創する知のあり方」（於：大阪大学豊中キャンパス・ハイブリッド開催）

・岡部美香、榎井緑、井上温子、阪本美奈子（2022.8）アートエリア B1 ラボカフェ 21世紀懐徳堂シリーズ Vol.6 「教育と福祉を架橋する② 多言語・多文化共生社会をめざして」（於：アートエリア B1・ハイブリッド開催）サイエンス・カフェ

・岡部美香、橋本浩一、芳澤夏子、古和田美枝、カンデル・ティラカ、アクタル・アリ・ムスタファ、谷緩名（2022.8）「現在 Being ステーション 大阪府守口市 夜間中学校」日本 OECD 共同研究「OECD 国際共創プロジェクト『壁のないあそび場-bA-場開きワークショップ』 過去を超える／常識を超える／国境を超える」（於：国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 レセプションホール・ハイブリッド開催）

・岡部美香、高見一夫、菊池伊代、仲谷元伸（2022.9）アートエリア B1 ラボカフェ 21世紀懐徳堂シリーズ Vol.8 「教育と福祉を架橋する③ 高校生の就職とキャリア教育」（於：アートエリア B1・ハイブリッド開催）サイエンス・カフェ

・岡部美香、高田紗英子、小川恵美子（2022.10）アートエリア B1 ラボカフェ 21世紀懐徳堂シリーズ Vol.10 「教育と福祉を架橋する④ トラウマ・インフォームド・ケアの可能性」（於：アートエリア B1・ハイブリッド開催）サイエンス・カフェ

・三浦まり、河野銀子、岡部美香（2022.10）共同通信オンライン勉強会「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数の教育分野を考える」（於：共同通信 オンライン開催）

・岡部美香ほか（2023.3）「私たちの創る「誰一人取り残さない」未来の社会—プログラムⅠ 私たちが取り組む SDGs—日本から世界へ」（第5回大阪大学 SSI シンポジウム・日本 OECD 共同研究）（於：大阪大学 SSI ハイブリッド開催）

・岡部美香ほか（2023.3）「私たちの創る「誰一人取り残さない」未来の社会—プログラムⅡ 私たちが創りたい未来の社会—大人たちに提言」（日本 OECD 共同研究）（於：東京学芸大学 オンライン開催）

・「しゃべる、きく、あそぶ 演劇ワークショップ」（府内の3つの児童養護施設と大阪ガスネットワーク（株）事業基盤部 Daigas グループ “小さな灯” 運動との協働）9回

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

【全学】

総長補佐（社学アウトリーチ担当携）

21世紀懐徳堂 運営委員会 委員

社会ソリューションイニシアティブ 兼任教員（基幹プロジェクト代表）

グローバル日本学教育研究拠点 運営委員会 委員

教育実習等専門部会 部会長

学生生活委員会 委員

【人間科学研究科】

学生支援室室長

研究科運営委員会 委員

所属学系：	教育学系	氏名：	藤川 信夫
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
「人間変容論Ⅱ」の一部に演劇ワークショップを導入した

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使途特定寄付金：(ACCD 大学コンソーシアム) 藤川信夫教授教育研究活動奨学寄附金 ・ 使途特定寄付金：(ACCD 大学コンソーシアム×藤川) 三菱みらい財団 教養教育プログラム推進奨学寄附金 ・ 学術研究助成基金助成金（科研費）：(基盤C（分担）_20-22_藤川) 演出技法を発問と役割演技に応用した、多様な感性を引き出す道徳教育手法の実践的開発 ・ 学術研究助成基金助成金（科研費）：(基盤C_21-23_藤川 信夫) 道徳授業分析への適用を通じた「エスノメトリー法」の有用性と妥当性の検証

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪市立丸山小学校学校協議会委員 ・ 大阪市立松虫中学校学校協議会委員

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	教育学系	氏名：	西森 年寿
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本教育工学会の理事として、研究会の運営を主担当した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
副研究科長。超域イノベーション博士課程プログラムの選抜審査評価 WG 主査

所属学系：	教育学系	氏名：	後藤 崇志
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
主として大学院生を対象に、教育工学に関する研究動向を共有し、議論するための勉強会を企画、実施した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
公益財団法人 発達科学研究教育センターより令和4年度学術研究助成事業の助成を受けた（～2023年度）。また、研究分担者として JST-RISTEX より科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラムの助成を受けた（～2026年度）。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
教育産業の企業3社において、教材開発への助言をおこなった。また、日本パーソナリティ心理学会の常任編集委員、Frontiers の Review Editor を務めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
大阪大学教育学年報の編集を担当した。

所属学系：	教育学系	氏名：	野坂 祐子
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>「教育・学校心理学」や「教育分野に関する理論と支援の展開」等の授業においては、公認心理師養成関連科目としてより実践的な臨床の知識とスキルを習得できるように、学校臨床及び児童福祉領域での臨床経験をふまえて、オンライン授業でも事例検討やロールプレイによるアクティブ・ラーニングを取り入れた教育活動を行った。</p> <p>また、学生・院生のフィールドワークとして、児童相談所や児童自立支援施設と連携した取り組みを行いながら学生の参画の機会を設けている。</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>【科研基盤(C)】代表「子どもへの性暴力に対するトラウマインフォームド・ケア／システムの開発」のほか、分担研究として3つの科研と1つの厚労科研を実施している。</p> <p>【基盤C】分担「幼児や特別なニーズのある子どもへのトラウマインフォームドケア／システムの構築」、【基盤B】分担「子ども理解につなげるトラウマインフォームドな環境の構築に関する研究」、【基盤C】分担「発達リスク予防・低減のための保育者研修及び幼児対象心理教育の開発」、【基盤C】分担「離婚、再婚を経験した家族へのトラウマインフォームドな支援プログラムの開発」、【厚生労働科研】分担「地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究」</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>日本トラウマティックストレス学会理事、及び同学会の被害者支援委員会の副委員長を務め、研究テーマであるトラウマインフォームドケアの日本での普及・教育・臨床活動に努めた。また、警察庁犯罪被害者等施策推進会議委員・同専門委員、厚生労働省社会保障審議会児童部会児童買春・児童ポルノ被害児童の保護施策に関する検証・評価専門会委員などを担った。また、複数の自治体の児童相談所の虐待ケース及び刑事施設でのスーパーヴァイザーとして、実務家の育成等に当たった。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>全学ハラスメント委員を務めている。</p>

所属学系：	教育学系	氏名：	阿部 望
-------	------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
教職員対象の研修会 3 件、査読（日本教育工学会論文誌）1 件

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	教育学系	氏名：	老松 克博
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
卒業・修了要件となる通常の授業の他に、臨床心理士資格取得のための授業が多数あるが、つつがなく終えた。そのなかには、不定期で長時間に及ぶ臨床実践に不可欠な授業もあるし、内部実習施設（一般市民を対象に学生が心理療法を実施する）における心理臨床上の危機対応なども含まれている。今年度は、引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底しながら内部実習施設を安全にかつ有効に運営していく必要があった。さらに、新国家資格である公認心理師の養成にも尽力した。養成は公認心理師プログラム運営室を中心に4年前から始まったが、室の活動を分担するかたちで、授業のみならず、年次進行に沿ったカリキュラムの整備、外部実習先の開拓や巡回指導などに多くの時間を費やした。くわえて、今年度は臨床心理学分野3年生の担任を務めた。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
研究および実践の成果として、著書（単著）を上梓した。臨床上きわめて重要な契機となる共時的現象についてのオリジナルな深層心理学的理解をつまびらかにした。また、心理臨床に関する論文をいくつかの専門誌に執筆し、深層心理学的なアプローチの深化に寄与した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
研究科附属心理教育相談室の室長として、広く一般市民を対象とする心理臨床活動を行い、社会的な健康増進に寄与した。また、いくつかの相談機関や研究機関において、臨床活動や研究活動への助言、研修か意の企画および実施運営、資格の審査をするなどの貢献をした。一例をあげれば、阪大附属病院と連携し「心のケアチーム」のアドバイザーを務めた。いくつかの学術団体の理事や学術誌編集委員として学術の発展普及にも尽力した。また、非常勤の医師として、外部医療機関で臨床研究を進めながら一定の社会貢献もはたしている。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
全学では、スチューデント・ライフサイクル・サポート・センター運営協議会委員として、入試の現況の分析や改革計画の作成などの協議に関わった。また、キャンパスライフ健康支援・相談センター専任教員候補者選考委員を務めた。部局では、評価委員として評価計画立案のための情報収集に携わる、博士論文受理検討委員会委員として論文博士申請に対応する、新棟対策WGメンバーとして問題点を洗い出す、などをした他に、心理教育相談室運営委員会委員として研究科附属心理教育相談室の運営にあたった。新型コロナウイルス感染症への対策など、高度な判断を迫られる局面が多かったが、大過なく運営できた。また、公認心理師プログラム運営室の室員として、全学を対象としたプログラムが円滑に運営できるよう努めた。

所属学系：	教育学系	氏名：	野村 晴夫
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
公認心理師プログラム運営室長として、公認心理師養成の全体を統括した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科学研究費補助金基盤C「高齢期における回想の社会的共有過程のナラティブ・アプローチによる探索」を受け入れた。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本心理臨床学会編集委員，日本心理学会編集委員，日本教育心理学会編集委員，臨床心理士養成大学院協議会理事

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
教務委員，公認心理師プログラム運営室長，「シリーズ人間科学」編集委員長

所属学系：	教育学系	氏名：	佐々木 淳
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>大学院ゼミでは博士課程・修士課程で9名の指導を行った。博士論文主査1名、修士号3名、学士号2名の指導をした。院生と査読付き英語論文3本、査読付き和文論文2本の共著学術論文を刊行した。臨床心理士コースはインテーク・ケースカンファレンスなどで、公認心理師プログラムでは事前事後実習、認知行動療法トレーニングプログラムや巡回で指導を行った。1名が臨床心理士資格を取得した。</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>基盤C（3年目）ではSydney大学教授との共同研究で認知行動療法のトレーニングプログラムの開発を行っており、23年度に国際学会発表および査読付き英語論文を投稿予定である。同プログラムによる日本学生相談学会ワークショップでは30数名、日本心理学会でのチュートリアルワークショップでは70数名の参加者を得て、大変好評だった。また、別テーマでConcordia大学との国際比較研究が進行中である。院生との共同研究は、査読付き英語論文3本、査読付き和文論文2本、国際学会発表3件、国内学会発表4件として発表した。また、精神病理についての単著1冊を執筆中である。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>日本学術会議第一部連携会員・幹事、日本心理学会代議員、日本認知療法・認知行動療法学会常任編集委員・公認心理師あり方委員会委員、日本産業ストレス学会評議員、公認心理師の会理事・倫理／職責／関連法規部門長・広報委員・役員改選制度ワーキンググループ長、大阪府臨床心理士会産業部門運営委員および研修会での話題提供などを務めた。公認心理師の会では、倫理綱領および倫理規程の策定に尽力した。理化学研究所や企業でのカウンセラーを行う傍ら、教育センターの教職員向けメンタルヘルス対策研修会の講師を務めた。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>附属心理教育相談室副室長として臨床心理士養成コースおよび心理教育相談室の円滑な運営に加え、兼任となっている公認心理師プログラム運営室における本省への確認申請書類の作成やとりまとめ、複数の学外実習先の開拓、事前・事後実習としての指導、認知行動療法トレーニングプログラムの実施、実習先への巡回指導を行った。財務会計委員会・産学官連携問題委員会委員、教育学系年報編集委員、学業支援チーム長としての対象学生のモニタリング、動物実験委員会委員、人間科学部50周年記念行事委員を務めた。</p>

所属学系：	教育学系	氏名：	管生 聖子
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<ul style="list-style-type: none"> ・他研究科と企業と連携しながら実施している Web による支援実践の場に院生も参加してもらった。 ・マインドフルネスの体験

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<ul style="list-style-type: none"> ・日本心理臨床学会奨励賞の受賞 ・科学研究費補助金（若手研究・研究代表者）（基盤 C・分担研究者） ・Society5.0 生誕 1000 日見守り研究（Society5.0 実現化研究拠点事業の資金） ・日本臨床心理士資格認定協会新型コロナ危機から立ち上がる「臨床心理士のこれから」を創新築するための児援助金助成事業（分担研究者） ・大阪大学賞

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<ul style="list-style-type: none"> ・日本発達心理学会国際研究交流委員特別委員 ・厚生労働省 技術審査委員会

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<ul style="list-style-type: none"> ・心理教育相談室運営委委員会副室長 ・公認心理師プログラム運営室委員 ・障がい学生等就学支援委員会委員長 ・教育実習専門部会委員

所属学系：	教育学系	氏名：	村中 誠司
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
今年度も遠隔実施の授業がいくつかあったが、受講生がその形式に慣れてきており、ツールにも明るくなってきたため、ブラウザで 사용할 ことができるホワイトボードアプリや質問受け付けシステム等を活用して、相互に交流できる授業実践を試み、この取り組みについて受講生から一定の好評価を得られた。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
大阪大学人間科学部設立 50 周年記念事業の一環として、クラウドファンディングで研究活動のための支援を募り、252 万円の資金調達を達成した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
2022 年 12 月 3 日、阪大人科主催で開催された、人間科学サミット in OSAKA のシンポジウム「時代とともに生きる心理的支援」に話題提供者として登壇した。
2023 年 3 月 1 日、国立研究開発法人日本医療研究開発機構主催で開催された、「第 2 回 予防・健康づくり領域の社会実装に向けたシンポジウム」で、パネリストとして登壇した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
前項で報告した大阪大学人間科学部創立 50 周年記念に関連して実施したクラウドファンディングでは記念式典の広報に貢献し、シンポジウムでは話題提供をおこなうことで人間科学のこれからについての発展的な議論に貢献した。

所属学系：	教育学系	氏名：	木村 涼子
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>授業については、オンラインと対面を組み合わせ、双方の利点を生かした講義・演習を展開するようにつとめた。大学院指導に関しては、主査として博士論文の執筆を指導し、一人博士号を取得するに至った。他に博士後期課程の学生7人について学会誌への投稿論文・学会に発表の指導をおこない、主査として2人、副査として1人が博士論文中間発表会を実施することができた。博士前期課程の学生に関しては、主査として1名、副査として4名の修士論文の指導をおこなった。</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>中等教育とジェンダー平等、教員構成とジェンダー、近代日本の家事労働と主婦イメージ、家庭教育支援政策などについて、学術論文および学術書の章担当の執筆をおこなうとともに、次年度に持ち越す課題として、共著・単著の出版を目指し、現在論文を執筆中である。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>日本学術会議と日本教育学会主催のシンポジウム『中等教育から考えるジェンダー平等』の企画・運営・シンポジストとしての参加をおこなったほか、関西地域の男女共同参画センターなどでの研修や講演活動をおこなった。学会活動としては、日本女性学会の幹事に選出され、学会誌の編集委員をつとめた。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>今年度は全学においては人権問題委員会の委員を、部局内においては、教育学系の幹事教授、広報委員会委員長、人間科学研究科研究倫理委員会副委員長および、大学院入学資格認定委員会、第三年次編入学試験運営委員会、心理教育相談室運営委員会、ハラスメント防止委員会、人事委員会、人間科学部創立50周年記念行事委員会など、各種委員会の委員をつとめた。</p>

所属学系：	教育学系	氏名：	荒牧 草平
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>科学研究費補助金（基盤研究Cの受け入れ）</p> <p>書籍（単著）の出版準備（3月末入稿→8月刊行予定）</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>日本家族社会学会：理事および研究委員</p> <p>一般社団法人社会調査協会：編集委員および表彰選考委員</p> <p>日本教育社会学会：学会奨励賞選考委員</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	教育学系	氏名：	園山 大祐
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
若手チャレンジ教育研究会という会合をもった。全国の学部生と院生が対面とオンラインで、自身の研究（卒論等）について話す場を設けた。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	教育学系	氏名：	小畑 理香
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
今年度より、研究課題「高等教育分野における EU と EHEA の協働の実態に関する実証研究」が科研費若手研究に採択された。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	教育学系	氏名：	北山 夕華
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>(1) 日本学術振興会の外国人招へい研究者として、サウスイースタンノルウェー大学のオスラー教授の受け入れ教員となった。滞在中、本学での公開セミナーや学生向けのワークショップを実施したほか、他大学とも協力してセミナーや調査研究活動を行なった。</p> <p>(2) 日本シティズンシップ教育フォーラムの研究大会のシンポジウムの実行委員長を務めた</p> <p>(3) 日本教育学会の研究推進委員会委員として、課題研究の企画と実施に携わった</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	教育学系	氏名：	岡田 千あき
-------	------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
外部講師を招いて研究会を行った。オンライン音声メディアを作成し、公開した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科学研究費補助金を活用して、2年間延期していたフィールドワークを行い、英語1本、日本語1本の査読付き論文、英語1本、日本語1本の査読無し論文の計4本を発表した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
学会理事、分科会副会長、研究奨励賞の選考委員（4件、うち1件は委員長）を務めた。国際協力機構の2件の事業に調査団員、短期専門家として派遣された。吹田市社会教育委員を始め行政・社団/財団法人・NPO等の各種委員や理事を務めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
教務委員、海外研究活動検討委員会委員を務めた。

所属学系：	教育学系	氏名：	高田 一宏
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
泉南市教育問題審議会で会長を務め、小・中学校の再編計画案を取りまとめた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	教育学系	氏名：	西 徳宏
-------	------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	教育学系	氏名：	佐藤 功
-------	------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県西予市野村町で行う復興支援活動に、人間科学研究科ほかの学生が参画するようになる。まちづくりや高校生の指導などを行い、現地の方々や愛媛大学の教員の方からも指導を受け、活動している。（2023年9月23日『朝日』天声人語）とりわけえひめ南予きずな博の一環として行った「全国高校生まちづくりサミット」においては、教職希望者を中心とした本学学生が高校生たちの伴走者として活躍した。 ・教員採用試験を受験希望する学生たちが集まり自主勉強会サークルを運営する活動は5年目を終え、先輩から後輩へ経験を伝え、自分たちで運営する形態が定着、高い教員採用試験合格率を得た。 ・教職授業を受講する、学部を超えた学生たちが、探究活動や授業指導などのサークルを複数たちあげ、活動を始めた。協力者の立場で適宜指導を行った。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<ul style="list-style-type: none"> ・従来から主催していた「学校現場を議員さんに伝える会」は5回目を迎え、府内小中高の教員に集まっていただき開催した。その後の議会質問につながり、改善の方向に進む案件もある。（2023年2月5日『朝日』ほか） ・高等学校における「探究」活動のこれからを担う教員志望の大学生向けのワークシート集を大阪大学の「特別活動総合的な学習の時間論」担当の教員たちで作成、発刊した。（佐藤功編著「はじめてつくる「探究」の授業」2023，3 大阪大学出版会） ・成人年齢引き下げにあたり、全国高校生まちづくりサミットにおいて高校生たちが意見表明を行い、NHKほかのニュースで解説コメントを行った。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県西予市野村町における復興支援活動において、地域の自治振興協議会や愛媛大学とともに一般社団法人「NEOのむら」を設立、母体として「えひめ南予きずな博」にて「がいなんよ大学 in のむら」を連続開催した。一環である「造って飲んで広げて復興支援」と称した、銘酒「緒方洪庵」復活プロジェクトも第2弾酒を完売し、念願の愛媛県西予市産米を使った酒造りに参加中である。 ・愛媛県西予市野村町の野村中学や沖縄県西原高校等で本学学生たちと現地とをオンラインで結び、全校集会や職員研修会にて大学生が考える探究活動や高大連携について協議した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>大学運営部門において、「大阪大学賞」を受賞した銘酒「緒方洪庵」は、社会学連携、文理融合の研究として評価された。商標を大阪大学に譲渡いただいて造った同酒は、大阪大学の公式グッズとなった。さらに愛媛の復興関係をすすめた「第3弾」醸造に取り組んでいる。</p>

所属学系：	教育学系	氏名：	橋本 あかね
-------	------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
教職課程を履修している学生・院生のうち、課題を抱えた学生・院生への個別対応に尽力した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
共同研究の成果として、『不登校とフリースクールの子ども』を2022年10月に出版。2023年4月に2刷刊行。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本質的心理学会 研究交流委員に就任。大会企画の立案から実施に参画。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
特になし

4-4. 共生学系

講座名等	教員氏名
未来共生学	檜垣 立哉
	稲場 圭信
	志水 宏吉
	千葉 泉
	渥美 公秀
	宮本 匠
	山本ベバリー・アン
	ETZRODT CHRISTIAN
グローバル共生学	澤村 信英
	杉田 映理
	藤目 ゆき
	大谷 順子
	河森 正人
	MOHACSI G e r g e l y
	太田 貴大
共生学系共通	小川 未空
	額田 有美
	ANDRIARINIAINA FANANTENANA
	RIANASOA

※計 18 名 掲載順

所属学系：	共生学系	氏名：	檜垣 立哉
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
とくにありません

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
とくにありません

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日仏哲学会の会長に就任。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
全学入試委員会委員・全学共通教育委員

所属学系：	共生学系	氏名：	稲場 圭信
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
大阪トヨタと連携してSDGsワークショップを6回、開催し、学部生および院生9名が参加した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
産官社学連携で、地域資源（寺社等宗教施設）と科学技術による防災・減災のアクションリサーチ、避難所情報共有システム「災救マップ」の社会実装に取り組んだ。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
防災・減災の取り組みとして、一般社団法人地域情報共創センターと共催で避難所情報共有システム「災救マップ」認定投稿者研修（公開講座等）を開催した。
大阪大学グローバルビレッジ津雲台のGVフェスに学生とともに運営スタッフとして参加した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
SSIの運営委員、基幹プロジェクト代表、「人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト」テーマ「分断社会の超克」代表者・企画会議委員など。

所属学系：	共生学系	氏名：	志水 宏吉
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
文部科学省博士課程教育リーディングプログラム「未来共生」の副コーディネーター（人事・財政担当）を昨年に引き続き務めた。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科研費（A）「教育における排除と包摂に関する教育社会学的研究」の最終年度を迎え、最終報告書を作成した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
人間科学研究科未来共創センターが窓口となり、社会学連携活動推進の軸となっている OOS 協定のパートナーである、株式会社 JATO および一般社団法人 WAKWAK の 2 組織と連携し、子どもたちの学習支援をはじめとする協働活動に学生たちとともに取り組んだ。 兵庫県教育委員会の「学力向上推進委員会」の委員長をつとめ、指導資料の作成にあたった。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
所属部局である人間科学研究科の財務会計委員を務めた。

所属学系：	共生学系	氏名：	千葉 泉
-------	------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
語り合い（共生社会論 II）、ウクレレの弾き語りによる自己表現と協働（共生の技法 I）など、学生の主体性を重視する特色ある授業を実施した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
ゼミの参加者との間に語り合いを実施した上で、参加者たちに文章を執筆してもらい、成果を一冊の書籍として出版した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
万博記念事業（国際交流部門）の委員として、来年度の応募事業を審査し、採択事業を決定した。また、大阪府警警察本部（刑事部・国際捜査課）の依頼により、外国人関連事件の捜査に協力し、関連資料（映像、音声）の聞き取りと日本語訳を担当した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<ul style="list-style-type: none"> ・総長裁量ポスト（障害学・D&I 分野）の選考委員会・委員長として、共生学系・准教授の選考および採用に尽力した。 ・論文博士学位論文受理検討委員会の委員として、1 件の申請について検討を行った。

所属学系：	共生学系	氏名：	渥美 公秀
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>附属未来共創センター(未来共生プログラム)と実施した岩手県野田村におけるコミュニティラーニングと附属未来共創センター(未来共生プログラム)および社会ソリューションイニシャティブ (SSI) との共催で実施したふくしまスタディツアーは、例年通り、フィールドワークの手法の習得に留まらず、受講生に被災や復興について深くかつ多方面から考える機会となった。教員側としては、ある程度実績を積んできたこれらの取り組みを、さらに広い文脈に位置づけて拡張していくための視点を得ようとしたのが今年度の特徴であった。</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>新たな研究活動を推進することを控えざるを得ない年度であったが、そのことによって、研究の現場から一步引いてこれまでの研究活動を見直す機会となった。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>学術的な講演、一般向け講演、行政等の委員会などは最低限に留めた。国際的な交流活動はメールベースでは広がる萌芽を得ているが、実際には今年度の動きとしては最小限に留めている。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>研究科長として十分な動きができたかどうかは心許ない限りである。様々な課題への対応もまだまだ緒に就いたばかりである。しかし何とかここまで過ごしてきたことは、ひとえに学生、教職員の皆様のご尽力の賜物であってここで改めて感謝したい。</p> <p>今年度の特記すべき事柄としては、人間科学部/人間科学研究科 50 周年記念事業の実施と OUMP 加速推進事業(重点推進)の獲得であろう。50 周年のレガシーを持続活用と、獲得した事業の実施へと進んでいくことになる。</p>

所属学系：	共生学系	氏名：	宮本 匠
-------	------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
短文形式の災害経験の伝承手法「3.11からの独り言」を応用した学生相互の理解を促進するワークショップ型授業を試行した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 「復興曲線を用いた被災者の復興感についての研究」(研究代表者)
関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団 試験研究助成 「人口減少社会の減災復興のための地域ガバナンスの再編についての実践研究」(研究代表者)
京都大学防災研究所 地域防災実践型 (一般)「被災当事者による災害伝承についての実践研究」(研究代表者)
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 「社会的葛藤を抱える地域のまちづくりにおける価値の公正な記述手法の開発」(研究分担者)
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(A) 「災害対応システムと「援原病」に関する共創的研究」(研究分担者)

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本グループ・ダイナミックス学会全国区理事
日本災害復興学会理事
日本災害復興学会広報委員長
日本質的心理学会編集委員
日本心理学会災害研究支援委員会委員
特定非営利活動法人 CODE 海外災害援助市民センター副代表理事
特定非営利活動法人 sky 協働センター理事
京都私立病院協会「中間管理者研修Ⅰ」講師

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
教務委員
第1種衛生管理者免許の取得

所属学系：	共生学系	氏名：	山本ベバリー・アン
-------	------	-----	-----------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
ユネスコチェアの活動を学部・大学院教育にもたらしている高度副プログラム、オンライン講義をもとにした「周年事業オンライン特別講義プログラム」により「大阪大学賞（教育貢献部門）」を受賞した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
以下の4つの研究代表を務めている、JST/RISTEX、英国のESRCによる国際共同研究プロジェクト「ヘルスケアにおけるAIの利益をすべての人々にもたらすための市民と専門家の関与による持続可能なプラットフォームの設計」（継続）、科研費基盤B「人権とジェンダー平等に基づいた包括的性教育の政策的枠組みと人材育成の7か国比較（継続）、UCLとの共同研究 CHIA（医療的ケア児のインクルーシブ教育の立場からニーズ研究）プロジェクト、UCLとの共同研究 Disability projects（障害を持つ学生の日常生活のドキュメンタリー映像を制作）。 研究分担者として、RUDY Japan プロジェクト、JST/RISTEX「医学・医療のためのICTを用いたエビデンス創出コモンズの形成と政策への応用」。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<ul style="list-style-type: none"> ・高知県教育委員会グローバル教育推進委員会委員 ・患者団体NPO法人HAEj理事長 ・国際患者団体HAEi理事 ・一般社団法人遺伝性血管性浮腫診断コンソーシアム(Discovery Consortium)理事 ・日本フィランソロピー協会の患者団体リーダーシップ研修

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
インターナショナルカレッジ（学部英語コース）人間科学コース長ならびにインターナショナルカレッジ副カレッジ長として人間科学コースのCPIE(国際教育推進会議)の議長を、そしてその他2つのインターナショナルカレッジ委員会の委員を務めた。G30プログラム（学部英語コース）は大阪大学の国際教育化に大きく貢献している。また、大阪大学ユネスコチェアのチェアホルダーとして大阪大学ユネスコチェア運営委員会の議長を務めた。ユネスコチェアは大阪大学アンバーサリーレクチャーシリーズやユネスコチェア高度副プログラムを通じて幅広く大学教育の促進に貢献した。

所属学系：	共生学系	氏名：	ETZRODT CHRISTIAN
-------	------	-----	-------------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>I have taught 16 courses in the last year.</p> <p>I have incorporated the first time non-Western sociological theories (Islamic theories, Post-colonial theories, and the nihonjinron) into my Sociological Theory class. This was a big success. It has made my class very popular among the foreign exchange students.</p> <p>I was 2nd supervisor of 1 PhD course student and 3 Master course students, who finished in the last year. Furthermore, I was the first supervisor of three G30 graduates.</p> <p>Currently, I am 1st supervisor of 1 PhD course student, and 2nd supervisor of 3 PhD course students and 7 Master course students.</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>I have set up an international collaboration with scholars from the UK (City University London, University of Sterling, and Coventry University), Netherlands (Radboud University Nijmegen), Belgium (Leiden University College), Sweden (Malmö University), Germany, China (City University Macao), and Australia (formerly University of New South Wales). We will conduct a symposium in October 2023 in Osaka with the topic "The Anglo-American Network: Transnational Elites and National, Regional, and Global Policy Making." We have planned for next year to publish a book about this topic.</p> <p>I have published the following peer-reviewed papers in international journals:</p> <p>1) Etzrodt, Christian/Uva, David (2022): Ikegami Eiko's Honorific Individualism Thesis - Critique and Development, Cogent Social Sciences 8(1): 2123140.</p> <p>2) Etzrodt, Christian (2022a): Probleme der Methodologie Max Webers und ihre Überwindung durch Karl R. Popper und Alfred Schütz [Problems of Max Weber's Methodology and their Solutions by Karl R. Popper and Alfred Schutz], Zeitschrift für Theoretische Soziologie 10(1-2): 5-28.</p> <p>3) Etzrodt, Christian (2022b): Managing the Liberal Democracy - Influence of Secret Elite Networks in the U.S. Governments 1901-2021, Polis. Political Studies 31(6): 7-21.</p> <p>I have published the non-peer-reviewed paper:</p> <p>Etzrodt, Christian (2023): 豊泉俊大訳 「日本人論」の現象学的分析『人間科学研究科紀要』49 巻</p> <p>And I have published the review paper:</p> <p>Etzrodt, Christian (2022c): Review of "How WEIRD is the US and why does this matter for the rest of the world?" Qeios: D2795W (https://doi.org/10.32388/D2795W).</p> <p>Furthermore, I have written a chapter for an edited book, which will be published soon:</p> <p>Etzrodt, Christian (forthcoming): The Ethical Systems of Religions and the Transformation of Capitalism. In Andrea Maurer (ed.), Max Weber's Sociological Thoughts on the Economy. Agenda Publishers.</p> <p>Finally, I have written 5 new papers in the last year. Currently, 3 papers are under peer-review, and I have to prepare 6 papers in order to submit them to journals.</p> <p>I have presented at an international conference: Comprehensive Sociological Theory of Education, 14th Asian Conference on Education in Tokyo, 28 December 2022.</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

I have conducted a Model United Nations Simulation with the topic “Global Politics” for several international schools at the Seisen International School in Tokyo on 8 October 2022.

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

I am a member of the International Exchange Committee. I participated in the entrance exams on the Japanese side and the admission process in the G30 program. And I was checking the English entrance exams this year. Additionally, I am a class supervisor for the 2020/R2 year.

所属学系：	共生学系	氏名：	澤村 信英
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
卒業研究については、専門領域の近い学生一人に対して、ガーナでの現地調査、学会発表、学会誌への投稿をサポートした。大学院生に対しては、学会誌などへの投稿を強く推奨し、4名の論文が掲載された（掲載確定を含む）。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
研究代表者として取り組んでいる基盤研究（A）および挑戦的研究（萌芽）の海外調査を再開させ、一定のフィールドデータを収集し、今後の成果発表へと道筋を付けることができた。ほとんどの大学院生の調査旅費等は、この科研費でカバーした。その成果の一部は、『SDGs時代にみる教育の普遍化と格差—各国の事例と国際比較から読み解く』（共編著、明石書店、2023年5月発行予定）として公刊する。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
学会活動として、引き続き、日本比較教育学会、国際開発学会、アフリカ教育学会、国際ボランティア学会の理事を務めた。特にアフリカ教育学会においては、学会誌『アフリカ教育研究』編集委員長として、その刊行とさらなる発展に貢献した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
引き続き、未来共生プログラムのコーディネーターを務め、同プログラムの本研究科内での定着と発展に貢献してきた。学内では、UNYV（国際ユースボランティア）推進タスクフォース委員を務め、今年度は初めて本学部学生が選考を通過し、派遣された。

所属学系：	共生学系	氏名：	杉田 映理
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>コロナによる海外渡航規制が緩和されたこともあり、国際協力学の学部生・院生が海外フィールドワーク（FW）へ行くことを同分野の澤村先生とともにサポートした。学部生は、ベルギー、フィンランド、カナダへの留学、スリランカへの国連ユースボランティア（全学プログラムでの選抜）派遣、ガーナ(2名)、オーストラリアでのFW、大学院生はケニア、ルワンダ、ネパールでのFWを支援して、人間科学部・研究科の教育の「国際化」に貢献できたと考える。</p> <p>また、HSP/未来共創センターのオープンプロジェクトに学生を巻き込み、活動の一翼を担ってもらっている。関西万博関連のイベントやラジオ等の外部への発信の場にも、学生に登壇してもらうことで学生の自信に繋がったと考えている。高大連携で高校生にもオープンプロジェクトの活動に参加してもらった。</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>外部資金では、基盤研究(B)を研究代表者として新規獲得した。</p> <p>HSP/未来共創センターのオープンプロジェクトで採択されたMeWプロジェクト（月経をめぐるウェルビーイングの検討）では、昨年度に産学連携で開発したディスペンサーを今年度は学外展開し、高校等での調査も実施した。本プロジェクトについて国内外のマスコミ等で取り上げられた。</p> <p>国際活動としては、月経研究関連でウガンダ、オーストラリア、日本（東京）で開催された国際フォーラム、国際シンポジウム等に招聘され登壇した。さらに EduPort ニッポンの学校保健に関するプロジェクト（代表は信州大学）において、ネパール・ラオスと保健教材を共同で開発し、ネパールの大学においてパイロット実践を行った。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>学会活動では、国際開発学会の常任理事、選挙管理委員長、学会誌編集委員を務めている。国際ボランティア学会では、理事、学会誌編集委員を担っている。</p> <p>また、国際協力の実践に対する後方支援として、国際協力機構（JICA）の衛生分野のアドバイザー、ジャパンプラットフォームの事業助成審査委員、国際学校保健コンソーシアムの事務局を務めている。さらに日本トイレ研究所の委員、中日本ハイウェイ・メンテナンス中央㈱へのトイレに関する活動の助言等も実施した。</p> <p>上記のMeWプロジェクトの関連では、約30の組織にプロジェクトで開発したディスペンサーが導入され、月経とジェンダー関連で4自治体ほかでの講演を行った。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>人科50年史編集部会のメンバーとして、昨年度に引き続き編集作業を実施して『50年史』の発刊・配布をサポートした。人科50周年記念行事では、三浦先生、学生と共に「記憶と記録の部屋」の運営に携わった。</p> <p>大阪大学UNESCOチェアについては、運営室メンバーとして定期ミーティングを持ちながら活動をサポートしている。</p>

所属学系：	共生学系	氏名：	藤目 ゆき
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
受賞：日隅一雄・情報流通促進賞 2022 大賞

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
学生支援室委員／総合型選抜・学校推薦型選抜面接委員

所属学系：	共生学系	氏名：	大谷 順子
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>博士後期課程の院生たちに国際学会での発表や、国際共著論文の分担執筆の機会を指導した。国際開発学会春季大会および秋の全国大会では企画セッションにて博士後期課程の院生たちが学外の著名な専門家と議論する機会も得た。</p> <p>全学共通科目では共生学の話題の開講の他、「適塾と緒方洪庵入門」で総括評価の担当年であった他、年2回開講においても分担担当した。夏季集中の国際交流科目 Learning SDGs Globally and Locally においてジェンダーの回を担当した。</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>大阪大学国際共同研究促進プログラム(タイプB)、野村財団「女性が輝く社会の実現」、三菱財団人文科学研究助成金の代表継続。新規の科研費基盤C代表、分担各1件、基盤B分担の継続2件。編著『子育ても、キャリア育てもーウィズ/ポストコロナ時代の家族のかたち』九州大学出版会を刊行。年度が始まってから新規で阪大メルボルン大学マッチングファンドに採択され、3月に国際合同ワークショップを開催した。また、新規で阪大人文社会研究成果国際的発信事業にも採択されアメリカの学術出版社から英文編著刊行準備を進めている。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>日本国際保健医療学会代議員。</p> <p>台湾留学同友会理事。</p> <p>公益財団法人日本 WHO 協会理事。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>全学委員会：国際交流委員会委員。不随し*中国政府「国家建設水平大学公派研究生項目」及びインドネシア教育基金奨学金運営WG*学生交流支援検討WG*海外派遣候補者選考WG*日本語・日本文化研修留学生プログラム実施WG。関連するさまざまな選考面接用務。</p> <p>適塾記念センター兼任。総合学術博物館兼任。</p> <p>国際教育交流センター教授会委員。</p> <p>部局内：国際交流室長。共生学系幹事教授。大学院入学資格認定委員会、第3年次編入入学試験運営委員会、入学試験委員会、入試合格者判定会議、人事委員会、UNESCO Chair プロジェクト委員会、入学試験科目別連絡委員会委員(外国語)。2年クラス担任。</p>

所属学系：	共生学系	氏名：	河森 正人
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
高知県四万十市大用地区においてフィールドワークを実施し、住民とともに地域課題解決のためのワークショップを実施した。ワークショップには高知県立大学社会福祉学部の学生や四万十市社会福祉協議会の職員も参加し、交流を深めた。長崎県長崎市の社会福祉法人出島福祉村および同グループの株式会社スカルパが運営するびわ農園およびジャム等製造工場を学生とともに訪問し、ビジネスを通じた障がい者の社会参加について学んだ。同社会福祉法人とは、フィールドワークやインターンシップ等を通じた交流を継続することになった。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
前年度からの研究をさらに進め、『人間科学研究科紀要』等に論文を発表した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
JICA 草の根技術協力「タイ国の自治体ネットワークによるコミュニティベース統合型高齢者ケアの普及モデル構築と人材循環プロジェクト」のアドバイザーコミッティメンバーとなった。横浜市の市民団体「野毛坂グローバル」のフェロー・アドバイザーとして同団体の活動に対して助言を行った。高知県四万十市の医療専門職団体「えっころネット」や同市の社会福祉協議会が実施している「医療専門職地域滞在事業」に対して助言を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
財務会計委員会、評価委員会、人事委員会、男女協働推進ワーキンググループ、総合学術博物館運営委員会の委員として活動した。

所属学系：	共生学系	氏名：	MOHACSI G e r g e l y
-------	------	-----	-----------------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<input type="checkbox"/> 集中講義世話役担当：1 科目 <input type="checkbox"/> 共通科目世話役担当：4 科目 <input type="checkbox"/> G30 科目担当（英語）：1 科目 <input type="checkbox"/> 自然との共生をテーマとした教育活動 ・学外実習の企画と実施：1 科目 ・コミュニティガーデンの管理・活用

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<input type="checkbox"/> 「心配と係り合いについての人類学的探求」（国立民族博物館）共同研究員 <input type="checkbox"/> 「カネとチカラの民族誌：公共性の生態学にむけて」（国立民族博物館）共同研究員 <input type="checkbox"/> NatureCulture (online journal) 編集員 <input type="checkbox"/> 『文化人類学研究』（学会誌）編集委員 <input type="checkbox"/> Somatosphere (online journal) 編集員 <input type="checkbox"/> 「実験性の生態学——人新世における多種共生関係に関する比較研究」（京都大学人文科学研究所共同研究、代表者） <input type="checkbox"/> 大阪大学 UNESCO Chair 設置準備委員会、委員 <input type="checkbox"/> TransAsiaSTS Network, founding committee member

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<input type="checkbox"/> 自らの研究において、北ベトナムの伝統医療知識の保護活動に関わる VietHerb 社との交流を進めている。 <input type="checkbox"/> 自らの研究において、奈良県宇陀市における阿騎野薬草農園との交流を進めています。 <input type="checkbox"/> 奈良県宇陀市公民連携まちづくりプラットフォームの会員を努めている。 <input type="checkbox"/> 共生学実験実習1の担当教員として万博記念公園と大阪大学との連携を進めている。 <input type="checkbox"/> 共生学実験実習1の担当教員としてNPO 法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）との連携を進めている。 <input type="checkbox"/> 「東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス」との連携を進めている。 <input type="checkbox"/> 日本文化人類学会「国際情報発信強化」委員を務めている。 <input type="checkbox"/> 日本文化人類学会「国際化、グローバル化対応」委員を務めている。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
(1) ユネスコチェア運営委員を務める（引き続き） (2) 教務委員会委員を務める（引き続き） (3) 学業支援チーム委員会委員を務める（引き続き） (4) 情報セキュリティ委員会委員を務める（引き続き） (5) 人間科学部50周年記念行事委員会委員を務める（引き続き） (6) 人間科学シリーズ編集委員会委員（引き続き） (7) 未来共生プログラムの統括会議委員（教務担当）を務める（新規） (8) 大学院入試運営委員会委員を務める（新規） (9) 適塾記念センター運営協議会構成員を務める（新規） (10) 教育課程委員会委員を務めた（新規）

所属学系：	共生学系	氏名：	太田 貴大
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
養蜂を活用した自然共生に関する実習

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
受賞：とくになし 外部資金の受入：科研費基盤C（代表）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
宇陀市における養蜂活動の支援 長崎県森林審議会会長 環境共生学会理事 日本湿地学会理事

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
広報委員会 動物実験委員会 共生学系の倫理審査委員会

所属学系：	共生学系	氏名：	小川 未空
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>Ogawa, M. (2022). Emerging inequality in Kenyan secondary schools: Dilemmas of educational expansion and quality improvement. <i>Prospects: Comparative Journal of Curriculum, Learning, and Assessment</i>, 52, UNESCO International Bureau of Education. DOI: 10.1007/s11125-022-09627-4</p> <p>日本学術振興会特別研究員（基盤研究A）「アフリカ・アジア諸国における教育の普遍化と格差に関する国際比較研究」（19H00620）、2019年度～2022年度、（研究協力者：2019年度～2021年度、研究分担者：2022年度～）</p> <p>日本学術振興会科学研究費（若手研究）「東アフリカにおける市民性教育の受容に関する比較研究」（20K13907）4,160千円（直接経費：3,200千円、間接経費：960千円）（2020年度～2023年度）</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>アフリカ教育学会紀要『アフリカ教育研究』編集幹事</p> <p>日本比較教育学会若手ネットワーク委員会（Y-Net）会員</p> <p>2022年度日本比較教育学会・書籍紹介、指定討論者</p> <p>International Education Development Forum Kobe 2022（Zoom）、Commentator</p> <p>国際開発学会第33回全国大会（明治大学+Zoom）、指定討論者</p> <p>大阪府立高津高校、研究室訪問受入</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>共生学系倫理審査委員会</p> <p>共生学系紀要『共生学ジャーナル』編集事務局</p>

所属学系：	共生学系	氏名：	額田 有美
-------	------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科学研究費補助金（基盤研究(B)「ポスト新自由主義時代におけるラテンアメリカの人権レジーム：地域統合と各国での実践」）研究分担者

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
第43回日本ラテンアメリカ学会定期大会大会実行委員会（会場校大会実行委員）

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
2022年度共生学系研究倫理委員会（委員）
2022年度『共生学ジャーナル』編集委員会・事務局（委員・事務局員）

所属学系：	共生学系	氏名：	ANDRIARINIAINA FANANTENANA RIANASOA
-------	------	-----	-------------------------------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

4-5. 学系外

講座名等	教員氏名
附属未来共創センター	木村 友美
	石塚 裕子
未来共生イノベーター 博士課程プログラム	榎井 縁
	MULLER STEPHEN
	徳永 恵美香
	WANG YIQIONG
国際交流室	安元 佐織
学部英語コース 人間科学コース特任教員	CAVALIERE Paola
	POZSGAI ALVAREZ JOSEPH
	BABOVIC ALEKSANDRA
	MAWER KIM GISELA
学生支援室	松井 智子
サイバーメディア室	宮本 友介
評価資料室	米田 翼
公認心理師プログラム運営室	平井 啓
	坂東 希
	松村 悠子

※計 17 名 掲載順

所属学系：	附属未来共創センター	氏名：	木村 友美
-------	------------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
未来共創センターからの授業の一環で学生へのフィールド実習を行っている。2022年度は、瀬戸内地域（香川県栗島など）に滞在調査を行い、学生がまとめたフィールドノートを地域の人々と共有しフィードバックを行うという地域ぐるみの教育を行った。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p><2022年度新規></p> <p>一般社団法人・全日本伝統文化後継者育成支援協会からの研究助成金（寄附金）100万円</p> <p><2022年度継続></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科研・基盤B（代表） 19H04352、2019 - 2023年 ・ 科研・挑戦的萌芽（代表） 19K21587、2019 - 2022年

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
農林水産省フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）へ講師として参加している

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
なし

所属学系：	附属未来共創センター	氏名：	石塚 裕子
-------	------------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>オープンプロジェクト「障害ラボ」によるエコレンジャー活動報告会の開催（学生、教員参加 約30名）</p> <p>課外プログラム「ふくしまスタディツアー」の実施</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>【外部研究資金】</p> <p>大阪府摂津市委託研究「災害時避難行動要支援者に対応した避難所のあり方」に関する調査研究</p> <p>JR 西日本あんしん社会財団「災害時要配慮者の近隣疎開避難システムに関する研究」</p> <p>土木学会関西支部「バリアフリー計画学の新たな射程に関する研究」</p> <p>日本学術振興会 科学技術研究費（萌芽）「地域共生社会における「対等性」の探求」</p> <p>地区防災計画学会 モデル事業助成</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>日本福祉のまちづくり学会 副会長、災害研究・支援委員会委員長</p> <p>土木学会関西支部「バリアフリー計画学研究委員会」代表</p> <p>2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 エキスパート（ユニバーサルデザイン）</p> <p>（公社）2025年日本国際博覧会協会 ユニバーサルデザインガイドライン検討会 委員</p> <p>国土交通省 移動等円滑化評価会議近畿分科会 委員</p> <p>その他多数（兼業届通り）</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>人間科学部・人間科学研究科 50周年事業実行委員会</p>

所属学系：	未来共生イノベーター博士課程 プログラム	氏名：	榎井 縁
-------	-------------------------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>大阪市生野区の小学校跡地にて NPO と大学と共同で「いくのふらっとだいがく」をたちあげました http://respect.hus.osaka-u.ac.jp/static/contents/classes/20230223ikuno.html</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>門真市人権尊重のまちづくり審議会委員（会長）、守口市人権尊重のまちづくり審議会委員（会長）吹田市人権施策審議会委員、伊丹市人権教育・啓発施策審議会委員、大阪府立西成高等学校学校運営協議会委員、大阪府立佐野高等学校学校運営協議会委員、大阪府立大阪わかば高等学校学校運営協議会委員、豊中市多文化共生施策推進連絡会議専門部会（部会長）、豊中市社会福祉協議会外国人支援と福祉の連携プロジェクト委員（部会長）</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>ハラスメント相談委員</p>

所属学系：	未来共生イノベーター博士課程 プログラム	氏名：	MULLER STEPHEN
-------	-------------------------	-----	----------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>1. British Culture Study Tour (March 3-5, 2023). Facilitated a British Culture study Tour for RESPECT students (未来共生プログラム) on the positive and negative aspects of British Society and Culture. The study tour was conducted entirely in English at "British Hills", an English culture educational centre established by the Sano Education Foundation, Kanda University of International Studies and Kanda Institute of Foreign Languages. As the facilitator and lecturer, I enabled the students to participate in a fully immersive English program of study and delivered three lectures on British culture related to the idea of Kyosei (共生):</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. An introduction to British Culture: the historical, the political, the traditional and the popular, plus the influence of multiculturalism on British society. 2. The impact of BREXIT and the threat to co-existence in British culture. 3. The negative aspects of British culture and their effects on modern day Britain with particular reference to colonialism and the Windrush scandal. On the final day, I moderated the students' own presentations and discussions on various aspects of British culture that interested them and provided them with further materials to develop their understanding of British culture and its place in the world. I also ensured that the students maintained an English only policy throughout the study tour in order to benefit from the fully immersive experience. <p>2. Academic Skills Training Course: Communicating with Confidence and Impact (February 4-9, 2023). I organized the annual intensive academic skills training course entitled "Communicating with Confidence and Impact" that I designed in collaboration with a London based communication skills training company called "React" (https://www.react.co.uk/) enabling the students to learn the techniques of effective communication for presentations, discussions and interviews in English. This course draws upon the famous research conducted by Albert Mehrabian, Professor Emeritus of Psychology, UCLA, on the importance of verbal and non-verbal communication which points out that what creates impact is Body Language, what we see (55%), Vocal Tone, what we hear (38%) and Content, the words we use (7%). In other words, if our message is not backed up with congruent body language and vocal tone, only 7% of our message will have any impact. Using techniques taught in Drama Schools, the students were taught body language skills, how to project their voices with power and resonance, how to construct an impactful presentation and how to handle nerves in any situation, but particularly in relation to public speaking.</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>Made use of the Cambridge University Library (February 22-24, 2023) to research the latest developments affecting British society with particular reference to Brexit and the present economic crisis. This enabled me to present up to date data for my lectures on the positive and negative aspects of British Society and Culture presented during a study tour for RESPECT students (未来共生プログラム) at the beginning of March (March 3-5, 2023)</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

I am the Secretariat coordinator of the RESPECT program (未来共生プログラム事務局会議コーディネーター)

所属学系：	未来共生イノベーター博士課程 プログラム	氏名：	徳永 恵美香
-------	-------------------------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>下記セミナーを学生1名と協働で企画立案するとともに、関係団体との連絡調整、広報及び当日の運営を担当。同セミナーでは、国内外から35名参加者を得て、未来共生プログラムが目的とする学生の多文化コンピテンシーの習得に寄与した。</p> <p>未来共生セミナー「外国人住民への多言語での情報発信について考える～コロナ禍の活動から見てきたもの～」、2022年7月29日、大阪大学大学院人間科学研究科ラーニング・コモンズ及びオンライン（主催：大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター・未来共生プログラム、共催：特定非営利活動法人多言語センターFACIL、協力：特定非営利活動法人移住者と連帯する全国ネットワーク・ひょうごラテンコミュニティ）</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>1. 著書・分担執筆</p> <p>(1) Tokunaga, E. (Expected in 2023). Asia (2021). Giulio Bartolini, Dug Cubie, Marlies Hesselman, and Anastasia Telesetsky (eds.), Yearbook of International Disaster Law, Volume 4 (2021), Brill/Nijhoff Publisher.</p> <p>2. 学術論文</p> <p>(1) 徳永恵美香 (2022). 「Covid-19の教育に対する権利への影響」『未来共創』9, pp. 127-141.</p> <p>(2) 徳永恵美香 (2022). 「公衆衛生上の緊急事態における被害者の保護-災害法の視点から」『国際人権』33, pp. 54-58.</p> <p>(3) 徳永恵美香 (2022). 「国際人権における居住福祉と国連人権理事会特別報告者」『居住福祉研究』33, pp. 11-17.</p> <p>3. 学会発表</p> <p>(1) 徳永恵美香 (2022.11). 「福島第一原発事故に伴う核廃棄物処理と人権-国際法的視座から見た日本の課題-」日本平和学会2022年度秋季研究集会（愛知大学）</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>1. 講演</p> <p>(1) 徳永恵美香 (2023.1) 「国内避難民の人権に関する特別報告者の『調査後のステートメント』の意義と内容」報告集会「国内避難民の人権に関する国連特別報告者による訪日調査について」（国内避難民の人権に関する国連特別報告者による訪日調査を実現する会、京都弁護士会館）</p> <p>(2) 徳永恵美香 (2023.3). 「居住福祉と国際人権法」2022年度居住福祉人材養成講座及び居住福祉学セミナー「居住福祉と人権-差別・分断社会を終わらせるために」（日本居住福祉学会、オンライン）（予定）</p> <p>2. その他</p> <p>(1) 審査員 第8回 (2023.3) (予定). 「国際公共政策コンファレンス（待兼山会議）」（高大連携の一環・主に高校生による研究発表を目的とした会議）（大阪大学大学院国際公共政策研究科）</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
特になし

所属学系：	未来共生イノベーター博士課程 プログラム	氏名：	WANG YIQIONG
-------	-------------------------	-----	--------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
熊本研修の企画運営（豪雨被害を受けた住民たちへの聞き取り）。聞き取りの内容に基づき、研修に参加した学生は研究ノートを執筆した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
論文 王一瓊（2022）「多言語社会におけるこれからの言語教育に関する予備的考察：大阪府の公立高校で行われている母語中国語の授業例を参考にしして」『社会言語学』22, pp. 79-95. 王一瓊（2022）「書評：尾辻恵美・熊谷由理・佐藤慎司編『ともに生きるために－ウェルフェア・リングイステイクスと生態学の視点からみることばの教育』」『ことばと社会』24, pp. 231-235. ハヤシザキ カズヒコ、栗原和樹、王一瓊、石川結加（2023）「イングランドにおけるソーシャルインクルージョンー学校教育と社会教育の取り組み事例ー」『福岡教育大学紀要』72, 印刷中 山口真美、瀬戸麗、王一瓊、ハヤシザキ カズヒコ（2023）「マイノリティの子ども・若者の学力保障と進路保障」『松山東雲女子大学人文科学部紀要』32, 印刷中 轟蕙菁、山脇佳、榎井縁、王一瓊、大川ヘナン、山本晃輔、石川朝子（2023）「公教育における外国人生徒の排除と包摂ー5つの高校の比較調査から」ジャーナル『未来共創』10, 印刷中 学会発表 王一瓊（2023）「しんどい（子）」という包括的捉え方が抱えるジレンマ：関西圏 N 高校における言語的少数派生徒への支援を例に」多言語化現象研究会 王一瓊（2022）「異文化を生きる外国人教員の複合的役割：日本の公立高校を例に」日本教育社会学会第 74 回大会 榎井縁、轟蕙菁、山脇佳、石川朝子、王一瓊、大川ヘナン、山本晃輔（2022）「公教育における外国人生徒の排除と包摂：5つの高校の比較調査から」日本教育社会学会第 74 回大会 王一瓊（2022）「多言語社会における母語教育の意義：大阪府の公立高校で行われる母語中国語の授業を例に」日本言語政策学会第 24 回大会 外部資金 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究「日本の公教育における母語教育の再構想：権利/資源としての言語の可能性を活かすために」2024 年度～2026 年度

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
NPO 法人おおさかこども多文化センター、多文化共生教育ネットワークかながわと連携し、研究活動を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
なし

所属学系：	国際交流室	氏名：	安元 佐織
-------	-------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>①世代間交流のための公開講座・7月10日（日）兵庫県伊丹市ラストホール</p> <p>②世代間交流のための公開講座・12月17日（土）静岡県浜松市南部協働センター</p> <p>③世代間交流のための公開講座・3月12日（日）兵庫県伊丹市ラストホール</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>留学生専門委員会</p> <p>国際交流委員</p> <p>教育改革推進委員会</p>

所属学系：	学部英語コース (G30)	氏名：	CAVALIERE Paola
-------	---------------	-----	-----------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項 (大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践)
2022 春学期 Women and Religion in Japanese Society (人科学コース科目) 特別公演会 琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センターのBixia CHEN 講師を招き 6月1日、オンライン&対面)
2022 春学期 Women and Religion in Japanese Society (人科学コース科目) 特別講演会 ハーバード大学院宗教学のDana MIRSALIS 博士を招き (6月8日オンライン&対面)
2022 秋学期 Introduction to International Education (全学教育推進科目) 履修者 (16人) と立命館大学OIC 学部生 (13人) の間の対抗討論会
2022 秋学期 Religion in Japanese Society (共通教育科目+APRU 提供) マンチェスター大学 Tim GRAF による (オンライン) 「日本の宗教文化を撮る」上映会+討論

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項 (受賞、外部研究資金の受入など)
2022年11月~2023年3月10日 大阪大学・メルボルン大学マッチングファンドによる両大学合同ワークショップ支援事業の下でワークショップ企画者・チェアー
2022年4月~2023年7月1日 第20回 World Congress of Sociology にてセッション RC39 (災害社会学) の企画とチェアー
2020年~ イタリア東方学学研究所 (京都) + イタリア・ミラノ=ビッコカ大学 数理自然科学研究科 計算科学システムコミュニケーション専攻 Bandini Stefania 教授+東京大学先端科学技術研究センター 西成 活裕教授他 国際共同研究を展開するためのワークショップ開催など (e.g. https://sites.google.com/unimib.it/distances2021/homepage?authuser=0)
2022~南アフリカ国立研究財団 (NFR), Register of Expert Peer Reviewers for Scientific Evaluation に任命され外部の日本宗教社会学の専門家として評価活動を行う
2022~ イタリア高度教育・研究評価機関 (ANVUR) に任命され外部の日本宗教社会学の専門家として評価活動を行う
2020年~2024年 引き続き科研費Cによる国際学術学会に発表、研究活動

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
安土城図屏風探索ネットワーク (https://www.azuchiscreens.org/) にてシンポジウムを開催し研究報告を行い研究成果を広く社会に還元している

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
インターナショナルカレッジ会議構成員
人間科学研究科の教育国際化推進委員会構成員
人間科学研究学部英語コース副長

所属学系：	学部英語コース (G30)	氏名：	POZSGAI ALVAREZ JOSEPH
-------	---------------	-----	------------------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項 (大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践)
<p>"Corruption policy, legal and institutional reform against corruption" (Master's degree subject taught at the International Anti-Corruption Academy -- IACA)</p> <p>"Corruption: issues, trends, definitions, consequences and measurements; impact of globalization on corruption" (Master's degree subject taught at the International Anti-Corruption Academy -- IACA)</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項 (受賞、外部研究資金の受入など)
<p>Zabyelina, Yuliya, Nicole Kalczynski, Joseph Pozsgai-Alvarez, Patty Zakaria, and Ozden Gul. 2022. Western Hemisphere Anticorruption Index Report 2022, John Jay College of Criminal Justice.</p> <p>https://whaci.org/assets/downloads/CNY_report.pdf.</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>Organized monthly online roundtables on "measuring corruption", with guest speakers from academic institutions and international/public/private organizations.</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>The Japan Network of Anti-Corruption Researchers (JANAR), of which I am Founder, was accepted as Affiliated Group to the UNCAC Coalition.</p>

所属学系：	学部英語コース (G30)	氏名：	BABOVIC ALEKSANDRA
-------	---------------	-----	--------------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項 (大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践)
promotional fairs organization/participation (worldwide)

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項 (受賞、外部研究資金の受入など)
“Japan and the UN System: Strategic Venue for Global Leadership Negotiation.” Japan and the World during the 2010s Handbook. Tokyo: MHM Limited, 2023. (forthcoming).

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
Lecture at The Foreign Correspondents' Club of Japan (FCCJ)

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
2023 Admissions committee for incoming HUS cohort

所属学系：	学部英語コース (G30)	氏名：	MAWER KIM GISELA
-------	---------------	-----	------------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項 (大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践)

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項 (受賞、外部研究資金の受入など)
教科書の章の執筆：実践につながる教育原理 (國崎大恩・藤川信夫編著)・第6章担当 (84-101 項)

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	学生支援室	氏名：	松井 智子
-------	-------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<ul style="list-style-type: none"> ・認定心理士資格認定委員（小委員会）（日本心理学会） ・広報委員会（健康心理学会） ・第29回日本行動医学会学術総会実行委員（日本行動医学会）

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<ul style="list-style-type: none"> ・人間科学部 50 周年記念事業（委員会） ・オープンキャンパスの運営 ・ハラスメント相談員

所属学系：	サイバーメディア室	氏名：	宮本 友介
-------	-----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
「大阪市西成区 単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業」表現プログラム「アジール呱呱の声」担当

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
人間科学研究科 部局ネットワーク管理者 C0 デザインセンター 部局ネットワーク管理者 人間科学研究科 部局 CSIRT 人間科学研究科 部局情報システムセキュリティ管理者 次期 LMS 検討サブワーキンググループ

所属学系：	評価資料室	氏名：	米田 翼
-------	-------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>私が担当している演習（現代人間学演習Ⅱ）の受講生と、九州大学文学部哲学科の学部生・院生との合同ゼミを計二回実施した。具体的には、学際的な哲学研究に従事するゲスト講師（第一回：米田翼、第二回：Tano Posteraro）を招いて、講師の著作や研究について参加者のあいだで議論を交わした。こうした活動を通して、文献研究に終始せず、他の研究分野へと開かれた包括的な視野をもった哲学研究者の養成に努めている。</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>博士論文をもとにした単著（『生ける物質—アンリ・ベルクソンと生命個体化の思想』青土社、2022年）を刊行し、「紀伊國屋じんぶん大賞 2023」において14位入賞となった。</p> <p>また、ベルクソン哲学と生物学の哲学に関する研究を世界的に牽引する Mathilde Tahar (Université de Lille) と Tano Posteraro (Concordia University) と共に、日本で二度の国際シンポジウムを開催し、当該分野における国際共同研究の足場を構築した。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>上記の単著に関する一般市民向けの対談形式の講演を計5回実施し、研究成果のアウトリーチ活動に努めた。具体的には、ベルクソン哲学や生物学の哲学に関する最先端の研究動向（遺伝子制御ネットワークモデルや最新のゲノム編集ツール（CRISPER-Cas9）がもたらす哲学上の諸問題）について紹介すると共に、哲学（特に科学哲学）と市民社会とのつながりに関して参加者と議論を交わした。</p> <p>また、上記の対談の一部をもとに、当該分野の最先端の研究動向について誰でもアクセスできるような入門書として、共著『ベルクソン思想の現在』（書肆侃侃房、2022年）を刊行した。</p> <p>一連の活動の成果は、読売新聞、朝日新聞、西日本新聞といったメディアにとりあげられ、哲学研究と市民社会をつなぐ実践として評価された。</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>評価資料室助教として、(1)執行部との連携のもと、OU マスタープランの実現に向けた人間科学研究科の部局アクションプランを作成したほか、(2)授業改善アンケート（年二回）の実施・集計を担当した。授業改善アンケートに関しては、2020年度以降、WEB形式に切り替えたことによって回収率が約20%となっていたが、本年度より紙媒体の形式に戻したことにより、回収率が約80%と大幅に向上し、今後の授業改善への貢献が見込まれる。</p> <p>また、教育改革推進室助教として、「国際学会派遣支援」、「オンライン国際学会派遣支援」、「国際研究交流プロジェクト」、「論文等の外国語校正支援」、「研究集会開催支援」、「英語力向上セミナー（年二回）」、「子育て・研究両立支援および子育て・学業両立支援」といった各種就学支援の運営・実施を担当し、社会学共創に貢献できる学際的・国際的な人材の養成に努めた。</p>

所属学系：	公認心理師プログラム運営室	氏名：	平井 啓
-------	---------------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
<p>心理・行動フォーサイトラボにおける PBL 授業</p> <p>公認心理師プログラムにおける様々な分野における実習</p>

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>科学研究費補助金基盤研究 B「メンタルヘルスケア受診行動の適正化のための心理教育プログラムの開発と有効性の検証」</p> <p>環境省放射線の健康影響に関する研究調査事業「放射線に対する恐怖・不安により生じる行動のメカニズムと心理学・行動経済学的制御に関する研究」</p> <p>京セラ株式会社学術相談「ニューロダイバーシティに基づく人材アセスメントに関する学術相談」</p> <p>株式会社富士通学術相談「行動経済学にもとづく施策立案」</p> <p>第一三共株式会社学術相談「がん患者の生活の質向上に関する相談」</p> <p>大日本住友製薬株式会社共同研究「心理・行動特性に基づいた認知症（MCI を含む）を主病とする患者の層別化の研究」</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<p>第 29 回日本行動医学会学術総会 大会長</p> <p>環境省 令和 4 年度放射線の健康影響に関する情報発信の実施業務 提案書審査委員会 委員</p> <p>令和 3 年度放射線健康管理・健康不安対策事業（福島県内における放射線に係る健康影響等に関するリスクコミュニケーション事業）支援センター評価委員会 委員</p> <p>日本サイコオンコロジー学会 短期サポートグループ WG ワーキング長</p> <p>日本心理学会 教育研究委員会・講演・出版等企画小委員会 13.</p> <p>日本行動医学会 理事</p> <p>日本緩和医療学会 小児緩和ケア WPG 員</p> <p>TERMS 第三者評価委員会委員</p>

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<p>教育支援デジタルローン共同研究講座設置に関する業務</p> <p>公認心理師プログラム運営室</p>

所属学系：	公認心理師プログラム運営室	氏名：	坂東 希
-------	---------------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
研究活動で連携してきた研究協力機関に依頼し、（記入者の担当業務である）公認心理師プログラムの実習機関として学生を受け入れていただくなど、学生の教育（実習）機会の充実に貢献した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
<p>1) 2020年4月から開始した科学研究費助成事業（基盤研究C、研究代表者）を継続した。</p> <p>2) 2023年4月から新たに下記の科学研究費助成事業に参加することが決まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤研究C（研究代表者）：逆境体験をもつ子どもを支えるトラウマインフォームドな地域づくりに関する実践的研究 ・基盤研究B（研究分担者）：新自由刑と無期受刑者処遇に関する総合的研究：日本型行刑における拘禁刑の社会化 <p>3) 博士論文を大阪大学大学院に提出し、2022年9月に博士号を取得。</p> <p>4) 論文「逆境的小児期体験（ACEs）のスクリーニング導入に関する文献レビュー」『子どもの虐待とネグレクト』24(1)92-102 2022年5月（査読有）</p> <p>5) 他大学（日本女子大学人間社会学部社会福祉学科）の研究者が研究代表者である研究事業「アディクション回復支援における治療共同体モデル実践のための研修プログラムの開発」に参加し、官民協働刑務所の援助職を対象としたインタビュー調査を実施した。</p> <p>6) 大阪府にあるNPO法人（暮らしづくりネットワーク北芝）のまちづくり事業及び組織のあり方、働き方を考える研究会に参加し、調査の実施・分析などを行った。</p>

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
<ul style="list-style-type: none"> ・箕面市地域福祉計画推進会議会長 ・令和4年度地域生活定着支援人材養成事業（管理職員研修） ・2022年度 奈良県人権教育研究会「夏期研修会」講演 ・仙台矯正管区職員研修 ・2022年度 広島県臨床心理士会司法矯正部会研修 ・大阪府治安対策課「大阪府の性犯罪者への入口支援に関する検討会議」に参加し、支援やアセスメントのあり方についての考察と助言を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	公認心理師プログラム運営室	氏名：	松村 悠子
-------	---------------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科学研究費の若手研究1件と、基盤研究Cの分担を受け入れている。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

